

病 院 年 報

第 3 号

令和 4 年度 (2022 年度)



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

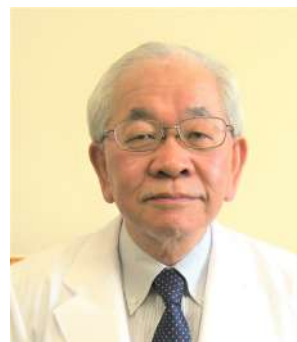
HAKUHOKAI Osaka Central Hospital

目 次

大阪中央病院 2022 年度年報の発刊にあたって	1
伯鳳会グループ理念	2
沿革	3
概要	5
基本診療料施設基準届出状況 特掲診療料施設基準届出状況	7
職員構成	8
組織図	9
各種委員会	10
各部門の活動	
内科	11
消化器内科	14
循環器内科	16
外科	18
整形外科	24
皮膚・形成外科	27
泌尿器科	28
婦人科	33
眼科	37
耳鼻咽喉科	38
放射線科	39
麻酔科	41
リハビリテーション科	42
薬剤部	43
中央検査部	44
臨床工学部	46
栄養部	48
看護局	50
健康管理センター	53
医事課	57

大阪中央病院 2022 年度

年報の発刊にあたって



院長 弓場 健義

2022 年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延が 3 年目になり、未だ猛威を振るっていた年間でした。しかし、新型コロナウイルス感染対応策の徹底、ワクチン接種の普及等々により徐々に日常診療を取り戻しつつありました。我々、医療人はどのような状況においても粛々と医療業務をこなさなければなりません。実際、当院においては新型コロナウイルス感染以前の外来患者数、入院患者数、手術患者数を確保するに至りました。しかしながら、今後の医療状況はまだまだ流動的であり、常に敏感に状況を察知し対応することが求められます。我々は常にデータを注視し、それに基づいて診療体制を再構築する必要があると考えております。そのためには、診療実態、治療成績を振り返り、現状を把握しつつ、将来展望を見据える必要があると考えられます。また、我々自身の治療成績を常日頃から公にし、学術活動等を通じて第三者の評価を受け、治療成績の向上に繋げる努力が求められると考えております。

本誌は各診療科、健康管理センター、各部門からの 2022 年度 1 年間の活動報告、新規取り組み、今後の目標等を記載し、これらを職員全員で共有することを目的として年 1 回刊行され、今回第 3 号をお届けする運びとなりました。

本誌を手にしていただいた皆様には、お時間の許す時にご高覧いただき、ご批判、ご意見をいただければ幸いです。

伯鳳会グループ理念

『平等医療・平等介護』

- 1、我々は健康サービスの水準を高く保ち、いつも最新の健康サービスが提供できるよう研鑽し、最良の設備、環境を整えます。
- 2、我々はお客様に愛情と尊敬を持って接し、お客様にとって何が最良かを一緒に考え実践します。
- 3、我々は地域社会に安心を提供し、いつも親近感のわく、あたたかい健康サービスを行います。
- 4、我々は他の健康サービスを行う方々と連携し、地域の方々の健康と生活を守ります。
- 5、我々は健康サービスを通じて自己実現を図り、もって多大なる社会貢献を果たすと共に、自らも幸福となります。

沿革

昭和 19 年 10 月 1 日	大同生命保険相互会社直営の「大同病院」(昭和 3 年開設)を継承し、 「健康保険組合連合会 大阪中央病院」と改称 内・外・産婦人・耳鼻咽喉・小児・眼・放射線の各科 110 床で開設 初代院長 松岡 武次郎
昭和 21 年 11 月	院長 林 茂雄
昭和 24 年 3 月	皮膚科・泌尿器科・歯科新設
昭和 29 年 8 月	病床数変更 110 床から 120 床へ
昭和 30 年 9 月	附属准看護婦学校設立許可(校長 林 茂雄院長兼務)
昭和 33 年 9 月	総合病院承認
昭和 34 年 4 月	短期人間ドック(1泊2日方式)実施病院指定(2床)
昭和 36 年 3 月	北館(地上4階 塔屋1階・地下1階 4,337 m ²)建設
昭和 36 年 5 月	病床数変更 120 床から 312 床へ
昭和 39 年 10 月	産科センター完成(ベビーベッド13床)
昭和 48 年 3 月	整形外科新設
昭和 50 年 3 月	手術棟改築(北館5階建設)
昭和 51 年 2 月	中央材料室、病理検査室、消毒、洗濯室完成
昭和 54 年 2 月	南館6階完工、中央検査室移転
昭和 54 年 3 月	南館5階に人間ドック棟完成、5床から12床へ
昭和 55 年 10 月	増改築に伴う病床数変更 312床から290床(人間ドック12床含)
昭和 60 年 4 月	院長 戸田 良郎
平成 3 年 4 月	院長 榎本 巧 総合健康管理センターを開設
平成 6 年 8 月	産婦人科(産科閉鎖、婦人科のみとする) 小児科閉鎖
平成 8 年 5 月	院長 正岡 昭
平成 9 年 8 月	新病院開設許可 基本設計完了
平成 9 年 9 月	新病院工事着工
平成 11 年 4 月	地域医療連絡室設置
平成 12 年 3 月 1 日	新病院定礎式
平成 12 年 6 月 5 日	健康保険組合連合会 大阪中央病院 開院 (大阪市北区梅田3丁目3番30号 地上13階・地下2階 塔屋2階 駐車場77台) 5病棟、病床数232床、手術室4室 診療科目 内科・消化器内科・循環器内科・外科・整形外科 皮膚 形成外科・泌尿器科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線科 麻酔科 全12科

平成 12 年 8 月	一般病棟 I 群 入院基本料 2
平成 14 年 4 月	健康管理センター 日本総合健診医学会優良施設認定
平成 14 年 5 月	院長 大橋 秀一
平成 14 年 10 月	病床数変更 232 床から 227 床へ
平成 16 年 7 月	DPC 試行的適用病院として包括評価算定方式導入
平成 16 年 10 月	日本医療機能評価機構認定 (Ver4.0)
平成 17 年 10 月 1 日	創立 60 周年記念式典
平成 19 年 2 月	一般病棟入院基本料 10 対 1 から 7 対 1 へ 病床数変更 227 床から 181 床へ
平成 19 年 4 月	新健康管理センター開所記念式典・内覧会
平成 21 年 10 月	日本医療機能評価機構認定 (Ver6.0)
平成 23 年 1 月	病院基幹システム・健診システム入替
平成 25 年 5 月	9 階病棟および 6・8 階改修 (健診フロアへ) 病床数変更 181 床から 143 床へ
平成 25 年 6 月	泌尿器科 ロボット支援手術装置 ダヴィンチ導入
平成 26 年 4 月	診療録管理体制加算 1
平成 26 年 7 月	医師事務作業補助体制加算 1 健康管理センター 人間ドック健診施設機能評価認定
平成 27 年 7 月	外科に肛門外科 新設
令和元年 10 月 1 日	創立 75 周年記念式典
令和 2 年 4 月	院長 根津 理一郎
令和 2 年 7 月 1 日	健康保険組合連合会から医療法人伯鳳会へ事業譲渡 理事長 古城 資久
令和 3 年 1 月	整形外科関節手術 Mako(メイコー) ロボティックアーム導入
令和 3 年 2 月	電子カルテ導入 (ソフトウェア・サービス)
令和 3 年 4 月	地域連携・入退院支援センター (周術期管理センター (ペリオ)) 開設 麻酔科外来開始
令和 4 年 3 月	放射線科 CT、MRI 更新入替
令和 5 年 4 月	院長 弓場 健義

概 要

(1)	名 称	医療法人伯鳳会 大阪中央病院
(2)	所 在 地	大阪府大阪市北区梅田3丁目3番30号
(3)	開 設 者	医療法人伯鳳会 理事長 古城 資久
(4)	管 理 者	病院長 弓場 健義
(5)	開 設 年 月 日	令和2年7月1日
(6)	敷 地 面 積	2,528.64 m ²
(7)	建 設 面 積	1,632.55 m ²
(8)	延 床 面 接	22,856,831 m ²
(9)	構 造	S造、SRC造、RC造 地上13階・地下2階・塔屋2階
(10)	施 設	内科、消化器内科、循環器内科、外科、整形外科、 皮膚・形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、 放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、脳神経外科 全14科 病棟数 3病棟 病床数 143床 病室 特室1室・個室30室・二人室3室・三人室6室 四人室21室・重症室(2人)2室
(11)	施 設 基 準	一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1) 入院時食事療養(I)
(12)	駐 車 場	39台
(13)	病院施設認定一覧	<ul style="list-style-type: none">・日本消化器病学会専門医制度認定施設・日本肝臓病学会認定施設・日本循環器研修・関連施設・日本外科学会外科専門医制度修練施設・日本消化器外科学会専門医修練施設・日本消化器内視鏡学会認定施設・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設・日本大腸肛門病学会認定施設・日本がん治療認定医機構認定研修施設・日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設・臨床肛門病技能認定施設・日本整形外科学会専門医制度修練施設・日本産科婦人科学会専門研修連携施設・日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設・日本泌尿器科学会専門医教育施設・下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設

- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本総合健診医学会専門医研修施設
- ・日本総合健診医学会優良総合健診施設
- ・人間ドック健診施設機能評価認定施設
- ・大阪国際がんセンター連携登録医療機関

基本診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
2	診療録管理体制加算1
3	医師事務作業補助体制加算2（20対1）
4	急性期看護補助体制加算（25対1）（看護補助者5割未満）
5	看護職員夜間配置加算（12対1 配置加算1）
6	療養環境加算
7	重症者等療養環境特別加算
8	医療安全対策加算2・医療安全対策地域連携加算2
9	感染対策向上加算3・連携強化加算・サーベイランス強化加算
10	後発医薬品使用体制加算1
11	病棟薬剤業務実施加算1
12	データ提出加算（データ提出加算2・ロ・提出データ評価加算）
13	認知症ケア加算（加算3）
15	入退院支援加算（加算2）・入院時支援加算
16	患者サポート体制充実加算
17	せん妄ハイリスク患者ケア加算
食	入院時食事療養/生活療養（I）

特掲診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	婦人科特定疾患治療管理料
2	一般不妊治療管理料
3	ニコチン依存症管理料
4	がん治療連携指導料
5	糖尿病透析予防指導管理料
6	薬剤管理指導料
7	医療機器安全管理料1
8	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
9	検体検査管理加算（I）
10	検体検査管理加算（II）
11	ロービジョン検査判断料
12	コンタクトレンズ検査料1
13	画像診断管理加算1
14	画像診断管理加算2
15	CT撮影及びMRI撮影
16	冠動脈CT撮影加算
17	心臓MRI撮影加算
18	乳房MRI撮影加算
19	無菌製剤処理料
20	BRCA1/2遺伝子検査
21	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
22	運動器リハビリテーション料（I）
23	呼吸器リハビリテーション料（II）
24	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
25	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
26	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
27	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
28	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
29	精巣内精子採取術
30	膀胱水圧拡張術
31	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
32	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
33	人工尿道括約筋植込・置換術
34	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
35	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
36	腹腔鏡下仙骨固定術
37	仙骨神経刺激装置埋込術及び交換術（便失禁）
38	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
39	麻酔管理料（I）

基本診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料1）
2	診療録管理体制加算1
3	医師事務作業補助体制加算2（20対1）
4	急性期看護補助体制加算（25対1）（看護補助者5割未満）
5	看護職員夜間配置加算（12対1 配置加算1）
6	療養環境加算
7	重症者等療養環境特別加算
8	医療安全対策加算2・医療安全対策地域連携加算2
9	感染対策向上加算3・連携強化加算・サーベイランス強化加算
10	後発医薬品使用体制加算1
11	病棟薬剤業務実施加算1
12	データ提出加算（データ提出加算2・ロ・提出データ評価加算）
13	認知症ケア加算（加算3）
15	入退院支援加算（加算2）・入院時支援加算
16	患者サポート体制充実加算
17	せん妄ハイリスク患者ケア加算
食	入院時食事療養/生活療養（I）

特掲診療料施設基準届出状況

施設基準名	
1	婦人科特定疾患治療管理料
2	一般不妊治療管理料
3	ニコチン依存症管理料
4	がん治療連携指導料
5	糖尿病透析予防指導管理料
6	薬剤管理指導料
7	医療機器安全管理料1
8	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
9	検体検査管理加算（I）
10	検体検査管理加算（II）
11	ロービジョン検査判断料
12	コンタクトレンズ検査料1
13	画像診断管理加算1
14	画像診断管理加算2
15	CT撮影及びMRI撮影
16	冠動脈CT撮影加算
17	心臓MRI撮影加算
18	乳房MRI撮影加算
19	無菌製剤処理料
20	BRCA1/2遺伝子検査
21	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
22	運動器リハビリテーション料（I）
23	呼吸器リハビリテーション料（II）
24	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
25	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）
26	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
27	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
28	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
29	精巣内精子採取術
30	膀胱水圧拡張術
31	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
32	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
33	人工尿道括約筋植込・置換術
34	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
35	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
36	腹腔鏡下仙骨膿固定術
37	仙骨神経刺激装置埋込術及び交換術（便失禁）
38	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
39	麻酔管理料（I）

職 員 構 成

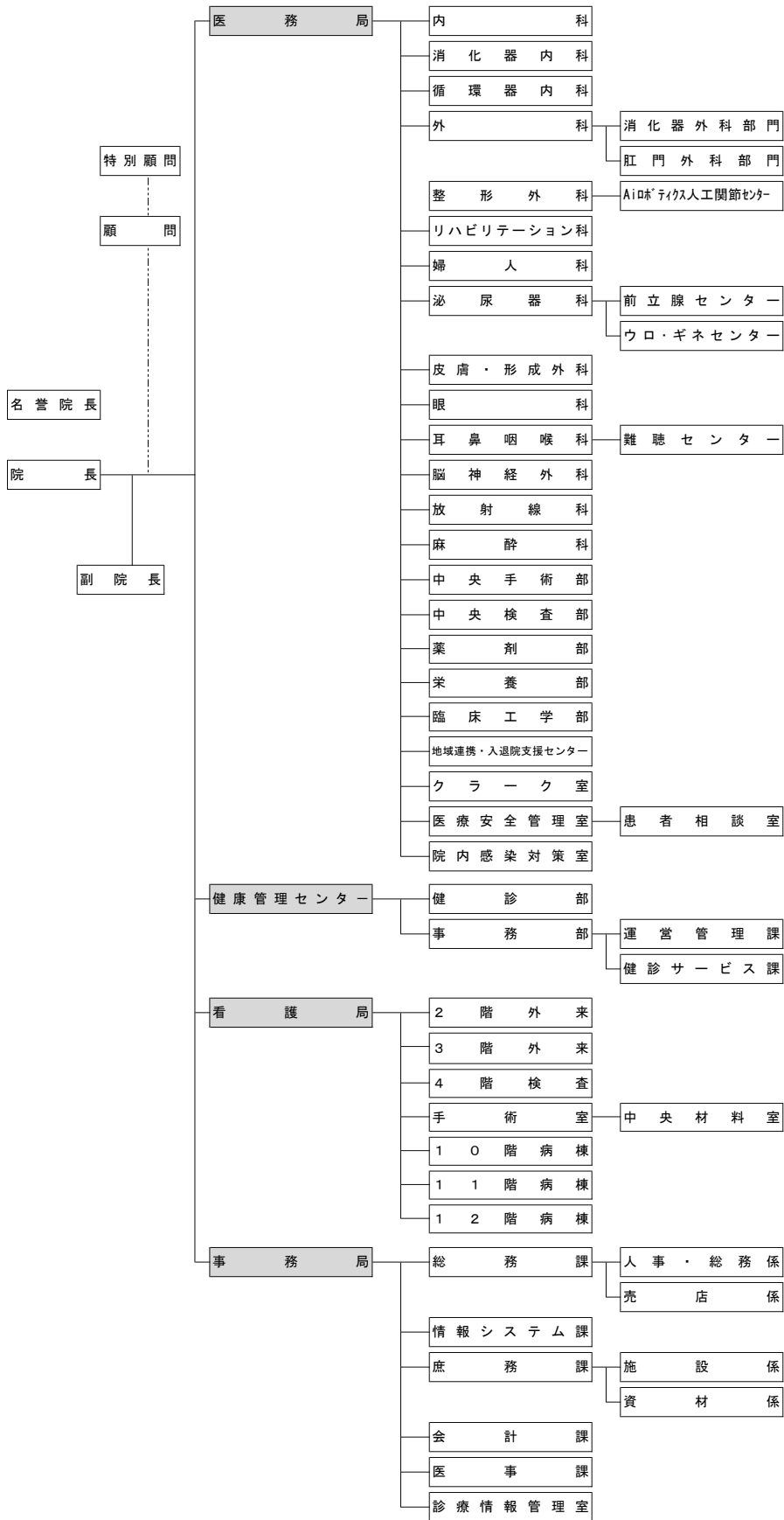
令和5年4月1日現在

区 分		正 規								準 職 員					非 常 勤		計
		医師	正看	准看	保健	看助	医技	洗浄	事務	医師	正看	医技	洗浄	事務	医師	医技	
診 療 部 門	内 科	1													7		8
	消 化 器 内 科	3								1					3		7
	循 環 器 内 科	3													3		6
	外 科	10													3		13
	整 形 外 科	3													5		8
	婦 人 科	5													3		8
	皮 膚 ・ 形 成 外 科	1													2		3
	泌 尿 器 科	5															5
	耳 鼻 咽 喉 科	1					1								6	1	9
	眼 科	1					2				1				5	2	11
	放 射 線 科	1					19								5		25
	麻 酔 科	4															4
	リハビリテーション科						6										6
	薬 剤 部						10		1								11
	中 央 検 査 部						33				4				6		43
臨 床 工 学 部						3										3	
栄 養 部						3										3	
地域連携・入退院支援センター		4						5								9	
健 管 C	健 診 部	8	8		6			3		5	13	1	4		31	4	83
	事 務 部								46					5			51
看 護 部 門	看 護 局 長		1														1
	看 護 局 長 補 佐		2														2
	外 来		38			5				2	1						46
	中央手術部（中材含む）		16					6									22
	10 階 病 棟		21			3											24
	11 階 病 棟		26			2											28
12 階 病 棟		21			2											23	
事 務 部 門	事 務 長								1								1
	総 務 課								5				3				8
	会 計 課								3								3
	庶 務 課								2				3				5
	情 報 シ ス テ ム 課								1								1
	診 療 情 報 管 理 室								2								2
	医 事 課								23								23
	ク ラ ー ク 室								10								10
計	46	137	0	6	12	77	9	99	6	15	7	4	11	79	7	515	

※（ ）は兼務のため、合計に含まず

組織図

令和5年4月1日



各種委員会

- (1) 労働安全衛生委員会
- (2) 院内感染防止対策委員会
- (3) 感染対策部委員会
- (4) 業務改善委員会
- (5) 薬事委員会
- (6) 治験審査委員会
- (7) 栄養委員会
- (8) 輸血療法委員会
- (9) DPC検討委員会
- (10) 医療ガス安全管理委員会
- (11) 中央手術部委員会
- (12) 診療情報管理委員会
- (13) 広報委員会
- (14) 医療安全管理委員会
- (15) 情報システム委員会
- (16) Reアクション委員会
- (17) 医療倫理委員会
- (18) 年報編集委員会
- (19) 褥瘡対策委員会
- (20) 図書運営委員会
- (21) 福利厚生委員会
- (22) 外来・病床運営委員会
- (23) 個人情報保護委員会
- (24) 教育・研修委員会
- (25) クリニカルパス委員会
- (26) レセプト審査委員会
- (27) 臨床検査適正化委員会
- (28) 職員食堂委員会
- (29) 接遇委員会
- (30) 勤務医(その他)負担軽減対策委員会
- (31) 医療放射線管理委員会
- (32) 機器購入委員会
- (33) 化学療法レジメン運営委員会
- (34) 災害対策委員会
- (35) ハラスメント委員会
- (36) 病院危機管理対策委員会

内科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

常勤医 1 名と非常勤医 7 名（計 糖尿病専門医師 4 名含む）で糖尿病とその合併症の精査加療および疾患管理、肥満・メタボリック症候群（MetS）、脂質異常症、脂肪肝（他の肝障害を含）、高尿酸血症、甲状腺疾患、高血圧、貧血、呼吸器疾患の外来診療を主として行なっております。特に糖尿病やその合併症および代謝疾患の管理を最新の治療薬剤や専門デバイスを用いて行なっており、各コメディカルスタッフ（糖尿病療養指導士 5 名、糖尿病認定看護師 1 名）と協同し、より良質な疾患管理に努めています。また、当院検診センターとの医療連携も強固であり、本年度も多くの患者往来がみられました。2021 年度からは呼吸器内科外来の拡充も行い、主に気管支炎を中心とした外来フォローや健診からの胸部画像異常の再検査なども行なっております。あと最近ですと新型コロナウイルス感染症（COVID-19）や有症状（発熱、呼吸器症状、全身倦怠感など）の外来対応にも内科医として協力しております。内科外来部門では非常に厳しい閾値をもって通常外来とのゾーニングを行っており、安全な診療体制の確保を心がけております。

『診療日程』

		月		火		水		木		金		土 第2・4週
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科	内科		田邊 和也		南 雄三	南 雄三	桑迫 崇裕		南 雄三	南 雄三	北島 孝一	交代
	糖尿病・ 内分泌内科	井上 真希	美内 雅之	美内 雅之			山木 香名	美内 雅之	井上 智香子	美内 雅之	山木 香名	
	呼吸器内科		宮武 明彦		宮武 明彦 (13:30~)			山本 悠司				

『2023 年度の目標』

2023 年度も引き続き現状を維持しつつ疾患管理の質の向上に努めてまいります。

2. 診療実績

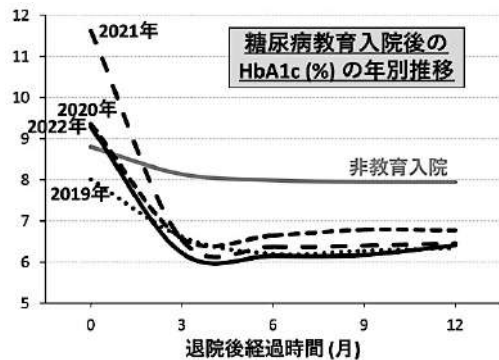
定期外来通院フォロー患者数：4,963 名（おおよそ 2~3 ヶ月間隔で外来フォロー中です）

有症状の外来対応（職員検査も含）：621 名

糖尿病 平均 61.7 歳	糖尿病腎症	肥満症 (MetS 含)	脂質異常症	高尿酸血症	甲状腺	貧血	呼吸器
1,931 名 (1 型 46 名)	833 名	502 名	2,035 名	856 名	699 名	398 名	625 名

[平均 HbA1c 7.0±1.3%]

糖尿病などの生活習慣病では、初期の治療介入が非常に重要であるという概念に基づき、当科では約1週間（5泊6日）の糖尿病教育入院や血糖コントロール不良症例への入院精査加療を実施



しています。特に糖尿病教育入院は2017年から内容の強化を年々図っており、退院の約1年間は学会推奨のHbA1c<7%を維持できます。2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、生活習慣の良質化は計りづらくなっておりましたが、治療強化の最適化やクリニカルイナーシャ（糖尿病治療の停滞）の是正を早期に行い、治療内容のレベルアップに糖尿病チーム（DeMteam）として取り組んでいます。

2023年も引き続き更なるサービス向上に努めます。

3. 業績

【学会発表】

1. 片山弥生、岡田美織、天王寺谷彩奈、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、平野弘臣、武内真有、山木香名、明神真希子、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之。COVID-19 治癒後の2次性サルコペニアの栄養サポート。第24回・第25回 日本病態栄養学会年次学術集会。2022年1月28日～30日。国立京都国際会館（京都）。
2. 天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、奥谷美栄子、山木香名、明神真希子、武内真有、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之。2型糖尿病の血糖管理における外食習慣の影響の検討。第65回 日本糖尿病学会年次学術集会。2022年5月12～14日。神戸国際会議場（神戸）。
3. 片山弥生、岡田美織、天王寺谷彩奈、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、奥谷美栄子、武内真有、山木香名、明神真希子、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之。低栄養状態の2型糖尿病における栄養摂取調査。第65回 日本糖尿病学会年次学術集会。2022年5月12～14日。神戸国際会議場（神戸）。
4. 天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生、奥谷美栄子、能澤鈴佳、竹内千里、山木香名、明神真希子、武内真有、南 雄三、美内雅之。2型糖尿病の外食習慣へのアプローチ ～摂取栄養素量からみた栄養指導～。第59回 日本糖尿病近畿地方会。2022年11月5日。神戸国際会議場（神戸）。
5. 美内雅之、能澤鈴佳、明神真希子、山木香名、武内真有、奥谷美栄子、天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生、竹内千里、南 雄三。糖尿病診療におけるClinical Inertiaの腎機能への影響 ～約4年間の記録から～。第59回 日本糖尿病近畿地方会。2022年11月5日。神戸国際会議場（神戸）。
6. Masayuki Miuchi, Kana Yamaki, Makiko Myoujin, Mayu Takeuchi, Yuzo Minami. Glucagon elevation and insulin resistance might influence HbA1c ascent in Japanese pre-DM with impaired fasting glucose. The Scientific Session of International Diabetes Federation (IDF) Congress 2022. 2022年12月5日～8日。Lisboa Congress Center (Lisbon, Portugal)。

7. 片山弥生、天王寺谷彩奈、岡田美織、奥谷美栄子、山辺鈴佳、竹内千里、井上智香子、山木香名、武内真有、南 雄三、美内雅之. 2型糖尿病患者における Body mass index (BMI) と体細胞量 (Body cell mass, BCM) 別にみた栄養摂取状況の検討. 2023年1月13日～15日. 国立京都国際会館 (京都).

【原著論文】

1. Saori Tsuruoka, Chisato Takeuchi, Ayana Tennoujiya, Miori Okada, Yayoi Katayama, Akihiro Hatano, Masayuki Miuchi. Clinical inertia in the medical care for patients with diabetes mellitus. J Jpn Soc Hosp Pharm. 58(4):389-394., 2022.

【雑誌原稿】

1. 美内雅之、小池眞一郎. 大阪中央病院糖尿病協会「つばき会」～つばきに添える考察～. 大阪糖尿病協会会報誌. 9., 2021.
2. 美内雅之. 生活習慣病の治療介入開始はお早めに!. 「虹」6(11)., 2021.
3. 美内雅之. 兵庫医科大学 糖尿病内分泌代謝免疫学 同門会雑誌., 2022.

【学会受賞】

1. 美内雅之、天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生 (DeM support team, DST) . レシピコンテスト奨励賞 (優秀賞) . 第24回・第25回 日本病態栄養学会年次学術集会. 2022年1月28日～30日. 国立京都国際会館 (京都).

消化器内科

1. 概要

消化器内科は、日本消化器病学会の指導施設、日本消化器内視鏡学会の指導施設、JED project 参加施設、日本肝臓学会の指導施設など学会からの認定を受けています。医師スタッフは、顧問 2 名を含め 6 名で運営し、大阪大学消化器内科の協力のもと上部・下部の内視鏡診断・治療や、各種消化器疾患の診療に携わっています。

『当科の方針と特徴』

当院は、健診受検者が非常に多いため、そこから多くの 2 次健診（精密検査）依頼を受け診療業務を行っているのが、特徴である。主には、上部および下部消化管疾患（癌，ポリープ，ヘリコバクターピロリ感染症）、肝胆膵疾患（膵嚢胞性疾患，胆石，肝炎）などの患者さんの診療に当たっている。また、当院の肛門外科には非常に多くの痔瘻を患った方が受診され、クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患（IBD）を患っている方が含まれるため、肛門外科と連携しながら、IBD の診断や生物製剤の導入などの治療を行っている。

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
消化器内科	岡本 佳子 大家 学		山本 光成	山本 光成	佐々木 裕	岡本 佳子	平田 一郎	李 恵利佳	山本 光成	佐々木 裕 (13:30~)	

『2023 年の目標』

昨年はスタッフの異動にともなう診療体制の変更や、新型コロナウイルスの蔓延などもあり十分な診療を行うことが困難であった。2023 年は、消化器内科スタッフの充実を図り、内視鏡検査や IBD 診療などの診療機能の充実をはかり入院患者を増やすことに務める。

2. 診療実績

	2021 年	2022 年
外来患者総数	6,933	6,621
入院患者総数	621	318
内視鏡件数	2,304 件	2,368 件
上部消化管	1,260 件	1,289 件 (ERCP 4 件)
下部消化管	1,044 件 (EMR 299 件)	1,079 件 (EMR 255 件)

3. 業績

【原著】

- 1) Naoki Ohmiya, Ichiro Hirata, Hirotsugu Sakamoto, et al: Multicenter epidemiological survey of pneumatosis intestinalis in Japan. BMC Gastroenterology 2022;22:272.
- 2) Nakahara S, Watanabe T, Sasaki Y, et al: Clusterin and Related Scoring Index as Potential Early Predictors of Response to Sorafenib in Hepatocellular Carcinoma. Hepatology Communications, 6(2);1198-1212, 2022
- 3) Maeda H, Sasaki Y, Maruyama T, et al: Nitric oxide facilitates the targeting Kupffer cells of a nano-antioxidant for the treatment of NASH. J Control Release 341;457-474, 2022
- 4) 貫通静脈を伴う難治性食道静脈瘤に対して経回結腸静脈的塞栓術 (TIO) が奏功した 1 例
東哲夫、吉田陽輝、直江秀昭、田村吉高、池田理、嶋田圭太、日比泰造、佐々木裕、田中靖人、日本門脈圧亢進症学会雑誌 28 (1)、42-47、2022

【学会・研究会】

- 1) 佐々木裕：司会、特別企画「専門医制度にむけて」、第 108 回日本消化器病学会総会、2022 年 4 月 23 日、東京
- 2) 佐々木裕：特別発言、シンポジウム 3「栄養代謝性肝疾患のマネジメント-栄養・運動・新規治療・発がんリスク-」、第 58 回日本肝臓学会総会、2022 年 6 月 3 日、横浜
- 3) 佐々木裕：司会、海外招聘講演 Prof. Annalisa Berzigotti (Univ of Bern)、第 29 回日本門脈圧亢進症学会総会、2022 年 9 月 8 日、大阪
- 4) 平田一郎：座長、「5-ASA 不耐の最前線」、関西腸疾患セミナー、2022 年 8 月、大阪
- 5) 平田一郎：講演、「IBD の診断手順と鑑別診断」、大阪 GI フォーラム、2022 年 11 月、大阪

【著書】

- 1) 平田一郎 著：「下部消化管疾患の病態・診断・治療－実践ハンドブック－炎症編」、株式会社日本メディカルセンター、東京、2022 年 9 月
- 2) 平田一郎 著：「下部消化管疾患の病態・診断・治療－実践ハンドブック－腫瘍編」、株式会社日本メディカルセンター、東京、2022 年 9 月

循環器内科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当科の方針でありかつ特徴は、『明るく・楽しく・親切』をモットーとし迅速で安全な医療を行うことです。外来診療ではできる検査(各種エコー検査、負荷心電図やホルター心電図等)は可能な限り当日中に行い、入院診療では短期間の入院となるように努めております。当科では、虚血性心疾患、心不全、心臓弁膜症、不整脈、末梢動脈疾患、生活習慣病、家族性高コレステロール血症および静脈血栓症等の診断と治療を行っています。症状、心疾患の家族歴、冠危険因子、心・頸動脈エコー及び負荷心電図の結果をもとに、虚血性心疾患が疑わしければ冠動脈 CT(急性冠症候群等では省略)を施行します。冠動脈 CT 上有意狭窄が疑われれば、入院して頂き冠動脈造影検査を施行します。造影上有意狭窄があれば、当院ではほぼ全例血管内エコーを使い PCI を行います。ここ最近では年間 200-250 例の PCI を行い、死亡・脳梗塞・緊急手術といった重篤な合併症はありません。発作性上室性頻拍、心房粗動、心室頻拍等の頻脈性不整脈及び心房細動に対しては、関西労災病院の増田正晴医師が当院にてアブレーション治療を行っています。年間 70-80 例を治療しています。徐脈性不整脈(洞不全症候群、房室ブロック、徐脈性心房細動)に対しては、ペースメーカー植え込み術を施行しています。糖尿病や高齢者の増加に伴い末梢動脈疾患も増加しております。当科では主に腸骨～大腿動脈病変に対する経皮的動脈形成術(PTA)を年間 20-25 例施行しております。動脈硬化性疾患は、高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙・内臓蓄積型肥満症などの生活習慣病を基盤として発症するため、各々の因子をコントロールすることが重要です。当院では、当院糖尿病内科・栄養部や大阪大学研究グループと連携を密に保ち生活習慣病の予防・加療に努めております。家族性高コレステロール血症(FH)は、LDL 受容体関連遺伝子の変異による常染色体優性遺伝する疾患です。FH ヘテロ接合体患者は 300 人に 1 人以上、ホモ接合体患者は 30 万人に 1 人以上の頻度で認められ、わが国における FH 患者総数は 40 万人以上と推定されています。ホモ接合体患者と一部の重症ヘテロ接合体患者は、内服加療だけでは LDL-コレステロールをコントロールできません。長期予後改善のためには、透析に似た回路を使い血中の LDL を吸着する LDL-アフェレーシスが必須です。当院は梅田にあり交通の便が良いため、大阪大学や国立循環器研究病センターから御紹介頂いた患者様の LDL-アフェレーシスを施行しています。深部静脈血栓症は、エコノミークラス症候群の認知と共にその病因として広く知られるようになりました。当科では肺塞栓症症例、心肺機能が低下している深部静脈血栓症症例、血栓形成ハイリスク疾患で ADL 改善が期待できない症例、肺塞栓を起こすリスクの高い大腿静脈から腸骨静脈の大きな血栓に対して、一時的もしくは永久的に下大静脈フィルターを留置し血栓溶解療法を施行しています。

『スタッフ』

副院長：柳光司 部長：西田義治 医長：西尾宗高
非常勤医師：増田正晴(関西労災病院・不整脈)、他 2 名

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
循環器内科	柳 光司		柳 光司		柳 光司		梁 美和	梁 美和 循環器・ 禁煙外来 (13:30~)	柳 光司		
	西尾 崇高		西田 義治		西尾 崇高		西田 義治		西田 義治		
			宮脇 大								

『2023 年の目標』

可能な範囲で迅速で安全な医療を最大限に行う。

2. 診療実績

	2021 年 (1 月～12 月)	2022 年 (1 月～12 月)
年間外来患者数	21,650 人	21,144 人
年間初診患者数	273 人	220 人
年間入院患者数	1,163 人	1,134 人
冠動脈造影検査(PCI 等含む)	538 例	518 例
経皮的冠動脈形成術(PCI)	258 例	215 例
経皮的動脈形成術(PTA)	17 例	22 例
経皮的腎動脈形成術(PTRA)	4 例	4 例
カテーテルアブレーション	70 例	75 例
ペースメーカー留置術	3 例	12 例
下大静脈フィルター	8 例	7 例
心エコー	3,416 例	3,662 例
経食道エコー	14 件	12 件
頸動脈エコー	2,743 例	2,880 例
下肢動脈エコー	299 例	303 例
下肢静脈エコー	795 例	737 例
腎動脈エコー	749 例	826 例
トレッドミル運動負荷心電図	1,711 例	1,749 例
ホルター心電図	351 例	343 例
心臓 CT	930 例	936 例

3. 業績

【学会・研究会】

水本拓見, 柳光司: 重症 3 枝病変を有する FH ヘテロ接合体症例におけるレパーサの有用性, 第 15 回 FH と脂質管理について考える会, 2022 年 10 月 14 日, 大阪市

飯田浩次, 山本真大, 柳光司: 造影 CT で検討した肺塞栓症の経過, 第 28 回中之島循環器・代謝フォーラム, 2022 年 11 月 12 日, 大阪市

外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

大阪中央病院外科は消化器外科、肛門外科および乳腺・甲状腺外科よりなります。以下、各領域別の方針と特徴について述べます。

<消化器外科>

消化器外科については、根津、弓場、安田、相馬が内視鏡外科手術（90%以上）を中心に手術を行っています。また、内視鏡外科学会技術認定取得者（合格率30%以下）が2名（胃1名、胆道1名）在籍しています。当科は大阪大学消化器外科の関連病院として連携しています。

- ・胆嚢疾患：胆石症や胆嚢ポリープ・胆嚢筋症などに対する腹腔鏡下胆嚢摘出術は、当科で最も施行症例の多い手術で、例年40～70例程度に施行しています。さらに総胆管結石症に対しても、ほぼ全例に胆嚢摘出と同時に腹腔鏡下に結石除去を行っています。
- ・食道疾患：当科では腹部食道の良性疾患に力を入れてきました。腹部食道は通常の開腹手術では相当大きく切らないと手術できない部位ですが、腹腔鏡を用いれば比較的容易に術野が展開できるため、腹腔鏡下手術の良い適応と考えられます。食道アカラシアに対する腹腔鏡下手術はこれまでに36例に行い、逆流性食道炎、食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下噴門形成術はこれまでに43例に行いました。
- ・胃疾患：胃癌に対する腹腔鏡下手術は、当科において積極的に施行しています（腹腔鏡下手術率90%以上）。とくに当初、早期胃癌のみが適応でしたが、郭清技術の向上にともない、進行胃癌にも適応を広げています。また、以前は体腔外で吻合を行う「腹腔鏡補助下胃切除術」でしたが、2015年よりはすべて腹腔内で吻合を行う「完全腹腔鏡下胃切除術」を施行しています。
- ・大腸疾患：大腸癌に対しても積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。一部の例外（腸閉塞を併発した症例や周辺の臓器に浸潤した腫瘍の症例など）を除いて、殆どの大腸癌症例に腹腔鏡下手術を施行しています。年間20～30人程度の大腸癌症例に手術を施行していますが、腹腔鏡下手術の割合は90%を越えています。また、以前は体腔外で吻合を行う「腹腔鏡補助下結腸切除術」でしたが、2019年よりはすべて腹腔内で吻合を行う「腹腔鏡下結腸切除術」を施行しています。
- ・難治性の直腸脱（完全直腸脱）症例に対して、より再発が少ないとされる腹腔鏡下直腸固定術を積極的に行っています。2015年末までに腹腔鏡下直腸後方固定術（Wells変法）を47例に行い、良好な成績でした。さらに2016年初めより、より良い成績と低侵襲を目指して、欧米で標準術式とされる腹腔鏡下直腸腹側固定術を導入しました。現在は腹腔鏡下直腸腹側固定術と腹腔鏡下直腸後方固定術を併用し、2023年4月までに合計399例に施行し、良好な成績を上げています。
- ・炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）に対しても積極的に腹腔鏡下手術を導入しています。また潰瘍性大腸炎根治手術後の合併症併発例に対するサルベージ手術、クローン

病再発例、肛門病変合併例に対する外科治療にも取り組んでおり、良好な成績を収めています。

- ・その他：急性虫垂炎はほぼ全例に、鼠経ヘルニアも80%を越えて積極的に腹腔鏡下手術を行っています。

<肛門外科>

肛門疾患については、齋藤を中心に小野、三宅、久能、内海が痔核、裂肛、痔瘻、脱肛、直腸脱などの疾患を専門診療、手術しています。

当院の診療の性格（位置づけ）は、大腸肛門病学会認定の肛門専門医・指導医、臨床肛門病学会認定の肛門疾患の技能認定医・指導医が複数勤務する肛門診療の基幹的（紹介型）施設です。すなわち、近畿地方の診療所や病院から診断・治療の難しい肛門疾患の症例や、治療後の経過が思わしくない症例が多数紹介される施設です。

<乳腺・甲状腺外科>

乳腺・甲状腺疾患については、小林と安田を中心として診療しており、当院健診センターとの協力体制で、診断から治療（手術、化学療法など）まで一貫した診療を行っています。

2021年度は、CNBを54例に施行。内30例が乳がんと診断され、25例を当院乳腺外科で根治手術をしました。検診マンモグラフィの異常所見の中で、微小石灰化病変が指摘される頻度は高く、DCISを示唆する症例を如何に的確に診断するかが問題です。微小石灰化部位を超音波下にCNB生検し組織診断に至りますが、微小石灰化病変は超音波検査では描出されず、いかに該当部位を同定するかが問題となり、Gridを装着したマンモグラムで石灰化部位を同定し、エコー下CNB行う工夫も行っていきます。

『スタッフ』

現在(2023年4月1日)の陣容は、根津理一郎名誉院長、弓場健義院長、小林哲郎特別顧問、齋藤徹特別顧問、相馬大人外科部長、安田潤消化器外科部長、小野朋二郎肛門外科部長、三宅祐一朗医長、久能英法医長、内海昌子医員の計10名に、福井玲子(乳腺外科)非常勤医師1名で構成されています。

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
外科	消化器外科	弓場 健義 相馬 大人 / 安田 潤	根津 理一郎		弓場 健義 安田 潤	相馬 大人			相馬 大人 / 安田 潤	相馬 大人 / 安田 潤	相馬/安田 IC外来
	乳腺・ 甲状腺外科	安田 潤		小林 哲郎 (予約制)					福井 玲子 (予約制)	小林 哲郎 (予約制)	福井 玲子 (第2週) (健診予約のみ)
	肛門外科	齋藤 徹	齋藤 徹	久能 英法		久能 英法	齋藤 徹	小野 朋二郎	小野 朋二郎	小野 朋二郎	

『2023年の目標』

消化器外科：本邦トップクラスの肛門外科とタイアップし、完全直腸脱症例に対する腹腔鏡下直腸固定術症例の増加に努め、本邦トップクラスを目指します。また、腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術におけるロボット支援の保険収載時に対応できるように準備します。

肛門外科：コロナウィルス感染者の蔓延による受診控えと、紹介元の患者数減少による紹介患者数の減少により、右肩上がりで増加していた手術件数が2020年は減少しました。しかし、2021年には増加しました。コロナウィルスの感染・蔓延は続いています。2023年は2022年の件数を上回ることを目指します。

乳腺・甲状腺外科：微小石灰化病変の診断については、vacuum assisted mammotomeの導入を検討したいところですが、cost performanceを考えるとなかなか導入が難しい。エコー部門の診断skill upは必須であり、更なる研鑽につとめてゆきたいと考えています。

2. 診療実績

	2021年	2022年
外来患者数	14,445	17,297
入院患者数	1,495	1,801
初診患者数	2,504	2,949

2017年～2022年 主な手術実績（消化器外科）

内訳

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
食道裂孔ヘルニア	1	0	1	0	0	1
胃癌(胃粘膜下腫瘍含む)	10	12	10	7	7	3
結腸・直腸癌	22	27	14	17	16	10
胆石・胆嚢ポリープ	78	60	51	48	42	47
総胆管結石症	2	3	3	1	2	3
ヘルニア	33	31	41	18	26	36
虫垂炎	3	4	6	3	2	7
直腸脱 [うち腹腔鏡下直腸固定術]	177 [41]	180 [37]	124 [46]	143 [60]	133 [52]	160 [69]
炎症性腸疾患				1	2	1
NCD登録数	1,318	1,517	1,798	1,565	1,594	1,853

2017年～2022年 主な手術実績（肛門外科）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
痔核	475	553	695	517	622	672
痔瘻	349	436	551	521	561	606
裂肛・肛門狭窄	43	71	76	67	49	31
直腸脱・直腸粘膜脱	136	143	78	83	110	135
その他	65	99	135	168	104	167
計	1,068	1,302	1,535	1,356	1,446	1,611

2017年～2022年 主な手術実績（乳腺・甲状腺外科）

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
乳癌	23	27	31	27	28	25

3. 業績

【学会・研究会・座長・司会】

『発表・講演』

1. 根津理一郎：IBDの腸管外合併症を考える～外科診療における諸問題。IBDの腸管外合併症を考える Web seminar vol.5, 2022年8月24日；大阪市
2. 弓場健義、相馬大人、安田潤、根津理一郎：完全直腸脱に対する腹腔鏡下直腸固定術後における直腸肛門機能：直腸腹側固定術と後方固定術の比較：第33回日本内視鏡外科学会；2022年12月8日-10日；名古屋市
3. 相馬大人、弓場健義、安田潤、久能英法、内海昌子、小野朋二郎、小林哲郎、斎藤徹、根津理一郎：腹腔鏡下直腸固定術後の直腸粘膜脱に関する検討。第77回日本大腸肛門病学会；2022年10月14日；千葉市
4. 安田潤、弓場健義、相馬大人、小野朋二郎、小林哲郎、斎藤徹、根津理一郎：同時性肺肝転移、異時性肺転移を伴った大腸癌に対して集学的治療が奏功した1例。第77回日本消化器外科学会；2022年7月20日；横浜市
5. 安田潤、弓場健義、相馬大人、久能英法、内海昌子、小野朋二郎、小林哲郎、斎藤徹、根津理一郎：完全直腸脱を合併した直腸癌症例の検討。第77回日本大腸肛門病学会；2022年10月14日；千葉市
6. 小野朋二郎、斎藤徹、久能英法、内海昌子、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：低位筋間痔瘻に対する括約筋温存術式の手技と成績。第77回日本消化器外科学会；2022年7月20日；横浜市
7. 小野朋二郎、斎藤徹、久能英法、内海昌子、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：痔核に対する結紮切除術の手技。第77回日本大腸肛門病学会；2022年10月14日；千葉市

8. 小野朋二郎、斎藤徹、久能英法、内海昌子、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：座骨直腸窩痔瘻に対する括約筋温存手術. 第8回西日本大腸肛門病懇談会；2022年8月6日；福岡市
9. 久能英法、斎藤徹、内海昌子、小野朋二郎、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：肛門部基底細胞癌の一例. 第77回日本大腸肛門病学会；2022年10月14日；千葉市
10. 久能英法、斎藤徹、内海昌子、小野朋二郎、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：全周性痔核へのアプローチ. 第122回近畿肛門疾患懇談会；2022年11月5日；大阪市
11. 内海昌子、斎藤徹、久能英法、小野朋二郎、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎：外痔核として切除術を施行した高齢男性肛門管重複症の1例. 第77回日本大腸肛門病学会；2022年10月14日；千葉市
12. 小澤京華、田中信、奥山祐右、黄哲久、大塚喬史、安達有博、丸尾和也、廣橋昌人、植原知暉、梶中克幸、太田崇之、中野貴博、稲田裕、中津川善和、山田真也、西村健、藤井秀樹、戸祭直也、佐藤秀樹、根津理一郎：大腸全摘・回腸囊肛門吻合術施行後に壊疽性膿皮症が再燃した潰瘍性大腸炎の一例. 日本消化器病学会近畿支部第117回例会；2022年10月8日；大阪市
13. 福田正博、外山 学、星賀正明、弓場健義、澤 芳樹、中尾正俊、高井康之、茂松茂人：令和3年度 大阪府医師会生涯研修活動の実態：大阪府医師会医学会総会；2022年11月6日；大阪市
14. 斎藤 徹、内海昌子、久能英法、小野朋二郎：コロナウィルスに対する感染対策と肛門診療への影響 第121回近畿肛門疾患懇談会 2022年6月4日 WEB 開催 AP 大阪駅前

『座長・司会』

1. 根津理一郎：症例検討（炎症性腸疾患の診療アプローチ）. [司会]；第86回 IBD mini conference；2022年5月27日；大阪市
2. 弓場健義：「胃がんは、今」（兵庫医大上部消化管外科 篠原 尚 教授）：大阪臨床外科医会総会（座長）；2022年6月2日；大阪市
3. 弓場健義：胃癌・大腸癌の最新の進歩：医学の進歩学術講演会（大阪府医師会）（座長）；2022年9月15日；大阪市
4. 弓場健義：要望演題 21 「こだわりの胃癌リンパ節郭清」：第84回日本臨床外科学会総会（座長）；2022年11月24日-26日；福岡市
5. 小野 朋二郎：第112回近畿肛門疾患懇談会（司会）；2022年11月5日；大阪市
6. 斎藤 徹：2022年12月20日 肛門病変を有するクローン病治療を考える クローン病肛門病変のマネジメントー外科治療の考え方と再生医療の可能性ー水島 恒和先生の司会（座長）WEB 開催 大阪

【論文・著書】

1. Yumiba T, Souma Y, Nakajima K, Yasuda J, Ono T, Saito T, Nezu R: Functional Outcomes Following Laparoscopic Rectopexy for Complete Rectal Prolapse Patients: Ventral Vs. Posterior: Journal of Gastrointestinal Surgery 2022;26:1774-1775.

2. 小野 朋二郎, 齋藤徹、内海昌子、久能英法、相馬大人、安田潤、弓場健義、根津理一郎. 慢性裂肛に対するブクラデシンナトリウム軟膏療法. 日本臨床肛門病学会雑誌 2022 ; 5 巻:22号:49-52
3. 小野 朋二郎, 齋藤徹、久能英法、弓場健義、根津理一郎. : 分離結紮および直腸粘膜刺通結紮を併用した痔核に対する結紮切除術. 手術 2022; 76 巻:7 号:1091-1095
4. 村山浩之、齋藤 徹、小野朋二郎、家田淳司: Rectocele に対する会陰体縫合による肛門括約筋形成術. 手術 76 : 1097-1112、2022

【講演会・セミナーなど】

『学会長・代表世話人』

1. 根津理一郎: 代表世話人: IBD Clinical Approach Web-Learning Seminar : 2022 年 2 月 16 日 ; Web 開催
2. 根津理一郎: 代表世話人: IBD Clinical Approach Web-Learning Seminar : 2022 年 6 月 22 日 ; Web 開催
3. 弓場健義: 会長: 大阪臨床外科医会 2021 年度後期総会 : 2022 年 1 月 29 日 ; 誌上開催
4. 弓場健義: 会長: 大阪臨床外科医会 2022 年度前期総会 : 2022 年 6 月 2 日 ; Web 開催
5. 齋藤 徹: 代表世話人 第 120 回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「低位筋間単純痔瘻の治療」2022 年 2 月 12 日 エル大阪 WEB 開催
6. 齋藤 徹: 代表世話人 第 121 回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「コロナ禍と肛門診療」2022 年 6 月 4 日 AP 大阪駅前 WEB 開催
7. 齋藤 徹: 代表世話人 第 122 回近畿肛門疾患懇談会 テーマ「ドーナツ型内外痔核の治療(嵌頓を含む)」2022 年 11 月 5 日 AP 大阪駅前 WEB 開催

【多施設共同研究への参加・製薬企業からの受託研究】

1. StageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法
または XELOX 療法における 5-FU 系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験 (JFMC-1202-C3 ACHIEVE Trial)
財団法人がん集学的治療研究財団 (2012. 8. 1~2021. 7. 31)
2. 直腸脱の手術成績に関する後ろ向き研究 Retrospective Study of Surgical Outcomes for Rectal Prolapse 大阪大学消化器外科共同研究会 大腸疾患分科会 (2021 年 1 月~)
3. 厚労省「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班) project 研究 (多施設共同)「潰瘍性大腸炎治療例の予後-QOL の観点から」(2020 年 6 月~)

整形外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当院整形外科では、これまで行ってきた膝と股関節に加え、2022年4月より肩関節疾患の治療を開始し、四肢の関節外科を中心に診療を行っている

膝と股関節の人工関節手術では、2021年1月にストライカー社製の人工関節手術支援ロボット Mako SmartRobotics (Stryker 社) の導入を機に「Ai ロボティクス人工関節センター」を開設しました。Ai ロボティクス人工関節センターでは、Ai を搭載した3D術前プランニングソフトによる綿密な術前計画を Mako SmartRobotics 支援下手術により正確に再現します。

Mako SmartRobotics は従来のナビゲーションシステムをさらに進化させたもので、手術の際に術前プランニングをより正確に再現し、また骨や周囲の軟部組織を保護することで本当の意味での最小侵襲手術の実現を可能にします。また、Mako SmartRobotics 支援下のロボット人工関節手術はこれまでは全人工膝関節置換術と人工股関節置換術のみでしたが、片側型人工膝関節置換術にも対応可能となり症例数を増やしています。

術後のリハビリテーションにも歩行アシストロボット (HONDA) を用いたロボットリハビリテーションも導入し、術前から手術、リハビリテーションまで一貫して「Ai×ロボティクステクノロジー」による医療を提供し、患者様の早期社会復帰を目指しています。

膝関節外科では、

スポーツ外傷・障害の治療

- ・半月板損傷や靭帯損傷などのスポーツ外傷に対する関節鏡視下手術
- ・関節軟骨損傷に対する鏡視下骨軟骨柱移植術や自家培養軟骨細胞移植術

変形性膝関節症の治療

- ・初期変形性膝関節症対しては変性半月板損傷や関節軟骨障害には関節鏡手術
- ・中期変形性膝関節症には骨切り術や片側型人工膝関節置換術 (Mako SmartRobotics PSI+Navigation)
- ・末期変形性膝関節症には全人工関節置換術 (Mako SmartRobotics PSI+Navigation) と病期によって適切な治療を選択して行っています。

股関節外科では、

- ・股関節唇損傷や大腿臼蓋インピンジメントに対する関節鏡視下手術
- ・変形性股関節症、関節リウマチや大腿骨頭壊死による進行期、末期の股関節障害に対して筋肉を切らずインナーマッスルを温存する前方アプローチによる最小侵襲人工股関節置換術 (Mako SmartRobotics PSI+Navigation) を行っています。

肩関節外科では

- ・ 腱板断裂、インピンジメント症候群、肩関節脱臼などに対する関節鏡下手術
- ・ 変形性肩関節症に対する人工関節手術
- ・ 拘縮肩に対するリハビリおよび外科的治療を行っています。

『スタッフ』

副院長・リハビリテーション科部長 : 坪田 次郎
 整形外科顧問 : 林田 賢治
 整形外科部長 : 藪野 互平

『2023年の目標』

- 人生100年時代を健康に生きる-

昨年度に引き続き、人生100年時代を健康に生きるために、基盤となる歩行機能の維持、また肩、膝、股関節などの関節の痛みを悩まされない生活の実現を目指し、治療をとおして社会に貢献していきたいと考えます。

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
整形外科	坪田 次郎 (膝関節)	林田 賢治 (肩関節) (予約制)	林田 賢治	坪田 次郎 膝専門外来 (人工膝関節) (13:30~)	藪野 互平 (膝・股関節)	坪田 次郎 膝専門外来 (スポーツ外傷)	林田 賢治		高見 賢司 (第1・2・3週)	藪野 互平 股関節外来 (人工股関節)	林田 賢治
	藪野 互平 (膝・股関節)								行方 雅人 (第4週)		

(土曜日は第2, 4週のみ)

2022年4月より肩関節の専門外来の増設など診療体制を変更し、診療にあたった。

病棟・手術体制

病床数は25床を常勤医3名で担当し、月曜午後、火曜午前、午後、水曜午前、木曜午前、午後、金曜午前に手術を行った。

2. 診療実績

年度別外来・入院延べ患者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
外来	7,720	7,942	8,101	6,895	7,475	8,760
入院	4,663	4,193	6,227	5,667	6,974	8,150
新入院患者	186	206	261	251	329	363

手術件数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
関節鏡視下半月板手術(膝)	38	64	57	48	32	24
関節鏡視下鼠摘出術(膝)	22	25	18	8	9	11
関節鏡視下靭帯形成術(膝)	11	24	15	15	6	5
関節鏡視下関節滑膜切除(膝)	0	0	0	0	9	4
関節鏡視下関節唇縫合術(股)	0	0	0	0	1	0
関節鏡視下腱板断裂手術(肩)	0	0	0	0	0	19
関節鏡視下関節唇形成術(肩)	0	0	0	0	0	4
関節鏡視下滑液膜摘出(肩)	0	0	0	0	0	5
人工関節置換術(膝)	63	52	86	72	140	143
人工関節再置換術(膝)	1	0	1	1	2	2
人工関節置換術(股)	3	2	33	43	71	96
人工関節再置換術(股)	1	0	1	1	0	0
人工関節置換術(肩)	0	0	0	0	0	7
人工関節置換術(足)	0	0	0	0	1	1
骨切り術	0	0	0	4	3	2
外反拇趾	0	0	1	2	2	0
上肢骨折	0	1	2	4	1	1
下肢骨折	4	2	8	10	4	7
その他部位の骨折	1	1	4	2	0	15
抜釘などその他	32	15	28	33	57	38
総手術数	176	186	253	242	338	384

3. 業績

【学会発表】

- 異なるレッグポジショナーを用いた Direct Anterior Approach(DAA)による Computer Assisted (CA)THA の比較検討-大腿神経麻痺に注目して
第 52 回日本人工関節学会 京都 2022/2/25-26 藪野互平 坪田次郎 浜脇誠
- 大骨頭径セラミックオンセラミック (Maxera)を使用した Computer navigated THA の短期的成績
第 49 回日本股関節学会 山形 2022/10/28-29 藪野互平 浜脇誠

【社会活動】

- 80歳の壁をこえるために-股・ひざ関節を大切にポイント 主催 大阪市立障害者センター、NPO 法人のぞみ会 2022年11月3日 藪野互平

【投稿】

- 80歳の壁をこえるために-股・ひざ関節を大切にポイント KSKR のぞみかんさい 変形性股関節の会 会員誌 No.69 p2-15 藪野互平

皮膚・形成外科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

- ・当科は皮膚科と形成外科という2つの科で一診療科を構成しています。両診療科は共通した疾患を取り扱うことが多く、診療に関する情報を相互共有しやすくすることで、よりクオリティの高い医療を目指しています。
- ・皮膚科、形成外科ともに、すべて専門医が診療します。
- ・当院形成外科では、特に眼瞼下垂症、下肢静脈瘤の診療に力を入れています。なお、すべての診療は下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による指導医が行います。

『スタッフ』

形成外科部長： 月野暁彦（形成外科専門医・血管内焼灼術指導医・皮膚腫瘍外科指導医）

皮膚科(非常勤)：平野亜由子（皮膚科専門医）

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
皮膚科	平野 亜由子 (10:00~12:00)									平野 亜由子 (12:00~14:00)	
皮膚科 形成外科	月野 暁彦		月野 暁彦	月野 暁彦 (予約制)	月野 暁彦		月野 暁彦		月野 暁彦		月野 暁彦

『2023年の目標』

当科では、安全で確実な治療を専門医が行うというスタンスで診療しております。

形成外科では、診療の主体である、眼瞼下垂と下肢静脈瘤の症例を増やしていきたいと考えております。

2. 診療実績

年(1月~12月集計)	2020	2021	2022
外来患者延数	4,971	4,412	5,032
初診患者延数	849	553	498
入院患者延数 (退院患者含む)	453	470	617

年(1月~12月集計)	2020	2021	2022
手術件数 入院	135	129	181
外来	171	117	200
眼瞼下垂手術	88	73	103
下肢静脈瘤手術	32	40	36
皮膚皮下腫瘍摘出術	124	128	130

泌尿器科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当院が都心に位置することを最大限に活用すべく、すべての泌尿器科領域の疾患に対して低侵襲かつ早期社会復帰を目指して診察、治療を行っている。入院での治療が標準である結石破碎治療は外来手術で行い、経尿道的膀胱腫瘍切除術の入院期間は5日間と大阪府下有数の短期入院である。また、前立腺癌に対するロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術は早くから導入し、神経温存や膀胱機能温存など合併症を極力減らした術式を実施している。

『スタッフ』

副院長 関井 謙一郎、部長 木内 寛、副部長 鯉田 容平、医長 惣田 哲治、医員 吉岡 史江

『診療日程』

各曜日午前中は1~2診で外来診療を行い、月・水・金の午後には女性専用のウロギネセンターを、金の午後には男性の専門外来（精索静脈瘤・不妊・ED）を開設している。

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
泌尿器科	木内 寛	関井 謙一郎 (予約制)	関井 謙一郎 (予約制)	関井 謙一郎 (予約制)	木内 寛	関井 謙一郎 (予約制)	交代		惣田 哲次	交代 (予約制)	交代
	惣田 哲次				吉岡 史江				吉岡 史江 <small>(精索静脈瘤・男性不妊・性功能)</small>		
ウロギネセンター		惣田 哲次 (予約制)		関井 謙一郎 (予約制)		木内 寛 (予約制)				木内 寛 (予約制)	

『2023年の目標』

2022年に当院と大阪暁明館病院、大阪陽子線クリニックの3病院で前立腺センターを立ち上げた。様々な前立腺癌治療、前立腺肥大症治療を提供することで、患者による治療選択肢を増やしたい。また、女性泌尿器科手術や男性不妊症手術についても、発信力を強化し、地域貢献をしたいと考えている。

2. 診療実績

2021年度と比較して、2022年度は外来新患数、入院件数、手術件数のすべてにおいて増加した（表1）。COVID-19の患者数が落ち着いてきたこともあり、骨盤臓器脱や尿失禁などのQOL疾患がCOVID-19前と同程度に増加した（表2）。2022年から不妊症治療が保険適応になったことに加え、近隣の不妊不クリニックとの連携を新たに構築したことで、男性泌尿器科の手術件数が増加した。

表1 泌尿器科の外来、入院、手術実績

	外来新患者数	1日平均 外来患者数	入院件数	手術件数 (ESWL 含まず)	ESWL (体外衝撃波 碎石術)
2021年度	484	39.5	341	300	52
2022年度	505	41.6	488	374	48

表2 泌尿器科の手術内訳

	内視鏡手術	腹腔鏡手術	ロボット手術	女性泌尿器手術*	男性不妊手術*
2021年度	83	18	32	50	15
2022年度	110	18	28	66	24

女性泌尿器手術：TVM、LSC、TVT (TOT)

男性不妊手術：低位結紮術、MD-TESE、simple TESE

3. 業績

【学会発表】

1. 惣田哲次, 鯉田容平, 木内寛, 関井謙一郎: 骨盤臓器脱に対する TVM 手術の中期成績 : 当院における 4 年間の経験:第 24 回日本女性骨盤底医学会; 2022 年 7 月 2-3 日; 埼玉県さいたま市
2. 木内寛, 今中岳洋, 栗林宗平, 岡田紘一, 関井洋輔, 竹澤健太郎, 福原慎一郎, 野々村祝夫: 早朝尿から推定した塩分摂取量は夜間多尿患者ほど多く, 眼前尿から推定した塩分摂取量は夜間多尿患者ほど少ない: 2022 年 9 月 1-3 日; 第 29 回日本排尿機能学会; 北海道札幌市
3. 鯉田容平, 惣田哲次, 木内寛, 松岡庸洋, 関井謙一郎: 当院における RARP 施行後の尿禁制関連因子についての検討: 第 72 回日本泌尿器科学会中部総会; 2022 年 10 月 6-8 日; 和歌山県和歌山市
4. 木内寛, 惣田哲次, 鯉田容平, 関井謙一郎: 女性骨盤底障害患者の受診契機: 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会; 2022 年 10 月 27-30 日; 長野県軽井沢市
5. 鯉田容平, 惣田哲次, 木内寛, 松岡庸洋, 関井謙一郎: ロボット支援下前立腺全摘除術 (RARP) 施行後の尿禁制についての検討: 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会; 2022 年 10 月 27-30 日; 長野県軽井沢市
6. 木内寛, 惣田哲次, 鯉田容平, 関井謙一郎: 25 年間にわたる手術統計から見えた男性不妊治療: 第 67 回日本生殖医学会学術講演会; 2022 年 11 月 3-4 日; 神奈川県横浜市
7. 惣田哲次, 鯉田容平, 木内寛, 関井謙一郎: 直腸脱を伴う骨盤臓器脱に対する一期的腹腔鏡下仙骨陰固定術, 直腸固定術の初期経験: 第 36 回泌尿器内視鏡・ロボティクス学会; 2022 年 11 月 10-12 日; 兵庫県神戸市
8. 惣田哲次, 鯉田容平, 木内寛, 関井謙一郎: ロボット支援前立腺全摘除術の術後尿禁制に影響する因子の検討: 第 36 回泌尿器内視鏡・ロボティクス学会; 2022 年 11 月 10-12 日; 兵庫県神戸市

【論文】

1. Sekii Y, Kiuchi H, Takezawa K, Imanaka T, Kuribayashi S, Okada K, Inagaki Y, Ueda N, Fukuhara S, Imamura R, Negoro H, Nonomura N: Dietary salt with nitric oxide deficiency induces nocturnal polyuria in mice via hyperactivation of intrarenal angiotensin II-SPAK-NCC pathway. *Commun Biol* **5**: 2022
2. Kuribayashi S, Saito S, Sawaya R, Takahashi Y, Kioka H, Takezawa K, Kiuchi H, Fukuhara S, Nonomura N: Creatine Chemical Exchange Saturation Transfer (Cr-CEST) Imaging Can Evaluate Cisplatin-induced Testicular Damage. *Magn Reson Med Sci*: 2022.
3. Matsushita M, Fujita K, Motooka D, Hatano K, Hata J, Nishimoto M, Banno E, Takezawa K, Fukuhara S, Kiuchi H, Pan Y, Takao T, Tsujimura A, Yachida S, Nakamura S, Obara W, Uemura H, Nonomura N: Firmicutes in Gut Microbiota Correlate with Blood Testosterone Levels in Elderly Men. *World J Mens Health* **40**: 517-525, 2022
4. Hiramatsu I, Tsujimura A, Miyoshi M, Ogasa T, Miyoshi Y, Ishikawa K, Uesaka Y, Nozaki T, Shirai M, Kiuchi H, Horie S: Maximum Flow Rate is Lowest in the Early Morning in Hospitalized Men With Nocturia Evaluated Over 24 Hours by Toilet Uroflowmetry. *Urology* **166**:196-201, 2022
5. Mori S, Kato T, Watabe T, Hatano K, Abe T, Fukuhara S, Kiuchi H, Imamura R, Uemura M, Nonomura N. Oligometastatic Lymph Node Recurrence Detected Using 18F-PSMA-1007 PET/CT in a Patient With Castration-resistant Prostate Cancer After Radiation Therapy. *Cancer Diagn Progn* **2**:598-602, 2022
6. Okada K, Takezawa K, Tsujimura G, Imanaka T, Kuribayashi S, Ueda N, Hatano K, Fukuhara S, Kiuchi H, Fujita K, Motooka D, Nakamura S, Nonomura N: Localization and potential role of prostate microbiota. *Front Cell Infect Microbiol* **12**. 2022
7. Inoguchi Y, Hatano K, Kato T, Kawashima A, Abe T, Fukuhara S, Uemura M, Kiuchi H, Imamura R, Nonomura N: Surgical resection of primary leiomyosarcoma of retro-hepatic inferior vena cava extending from bilateral renal veins across the diaphragm. *Int Cancer Conf J* **29**: 115-119, 2022
8. Tani M, Nagahara A, Takada S, Fujita K, Fukuhara S, Uemura M, Kiuchi H, Imamura R, Nonomura N: A case of mediastinal teratoma with malignant transformation into angiosarcoma and relapse with multiple bone metastases that was cured by a multidisciplinary treatment. *IJU Case Rep* **6**: 93-96, 2022
9. Mori S, Kato T, Watabe T, Hatano K, Abe T, Fukuhara S, Kiuchi H, Imamura R, Uemura M, Nonomura N: Oligometastatic Lymph Node Recurrence Detected Using 18F-PSMA-1007 PET/CT in a Patient With Castration-resistant Prostate Cancer After Radiation Therapy. *Cancer Diagn Progn* **2**: 598-602, 2022
10. Nate T, Hatano K, Kato T, Kawashima A, Abe T, Fukuhara S, Uemura M, Kiuchi H, Imamura R, Nonomura N: Mucinous cystadenoma of the renal parenchyma presenting as a Bosniak IIF complex renal cyst. *IJU Case Rep* **6**: 150-153, 2023

11. Arioka M, Koyano K, Nakao Y, Ozaki M, Nakamura S, Kiuchi H, Okada H, Itoh S, Murao K, Kusaka T: Quantitative effects of bilirubin structural photoisomers on the measurement of direct bilirubin via the vanadate oxidation method. *Ann Clin Biochem.* **11**:2023
12. Kuribayashi S, Fukuhara S, Tsujimura G, Imanaka T, Okada K, Ueda N, Takezawa K, Kiuchi H, Saito S, Takahashi Y, Kioka H, Oura S, Shimada K, Ikawa M, Nonomura N: Evaluation of the efficacy of creatine chemical exchange saturation transfer imaging in assessing testicular maturity. *Reprod Med Biol.* **23**:e12507, 2023
13. 関井謙一郎, 今中岳洋, 鯉田容平: Clear Petra system が極めて有効であった多発性腎結石の 1 例:泌尿器外科 **36**: 87-89, 2023
14. 関井謙一郎, 今中岳洋, 鯉田容平: バンチング結紮を施行した RARP225 例の検討:泌尿器外科 **35**: 429-433, 2022
15. 木内寛, 竹澤健太郎, 福原慎一郎: 前立腺肥大症・低活動膀胱. 泌尿器科外来ベスト NAVI. 臨泌増刊号 82-85, 2022
16. 木内寛, 竹澤健太郎, 福原慎一郎: 前立腺肥大症. 泌尿器科外来ベスト NAVI. 臨泌増刊号 86-89,2022
17. 小西雅俊, 加藤大悟, 小齊信也, 東原大樹, 阿部豊文, 植村元秀, 木内寛, 今村亮一, 福原慎一郎, 野々村祝夫:外傷性持続勃起症に対して選択的動脈塞栓術が奏効した 1 例 泌尿器科紀要 **68**: 91-94, 2022
18. 上戸賢, 角田洋一, 福原慎一郎, 藤田和利, 植村元秀, 木内寛, 今村亮一, 宮川康, 野々村祝夫:原発巣の同定に難渋した浸潤性乳管癌副腎転移の 1 例.泌尿器科紀要 **68**: 239-243, 2022

【講演】

1. 木内寛, 辻村剛, 今中岳洋, 岡田紘一, 関井洋輔, 竹澤健太郎, 福原慎一郎, 野々村祝夫: 高齢者と下部尿路機能障害- UpToDate:第 64 回日本老年医学会学術集会 (教育講演) : 2022 年 6 月 2-4 日; 大阪府大阪市
2. 木内寛, 辻村剛, 今中岳洋, 岡田紘一, 関井洋輔, 竹澤健太郎, 福原慎一郎, 野々村祝夫: ガイドラインに基づいた夜間頻尿の診断と治療: 第 72 回日本泌尿器科学会中部総会 (教育講演) ; 2022 年 10 月 6-8 日; 和歌山県和歌山市
3. 木内寛, 惣田哲次, 鯉田容平, 関井謙一郎: 高齢者 OAB 治療に対する抗コリン剤の長所と短所: 第 87 回日本泌尿器科学会東部総会 (イブニングセミナー) ; 2022 年 10 月 27-30 日; 長野県軽井沢市
4. 木内寛: 腸内細菌叢の様々な疾患への関与:第 29 回日本排尿機能学会 (シンポジウム) ; 2022 年 9 月 1-3 日; 北海道札幌市

【講演会・セミナー】

1. 木内寛: 第 8 回泌尿器科疾患治療研究会 (テーマ: 間質性膀胱炎の診療アプローチ・杏林製薬), 2022 年 9 月 6 日, 大阪府大阪市
2. 木内寛: 夜間頻尿 Online Seminar (テーマ: 夜間多尿の病態とその治療法・キッセイ薬品工業), 2022 年 9 月 8 日, 大阪府大阪市, Zoom ウェビナー
3. 木内寛: 第 186 回北区医師会学術講演会 (テーマ: 日常診療で出会う女性泌尿器科疾患とその治療・北区医師会), 2023 年 2 月 4 日, 大阪府大阪市
4. 木内寛: Expert Urology Seminar (テーマ: 夜間多尿治療のポイント), 2023 年 2 月 9 日, 大阪府大阪市

【座長・司会】

1. 木内寛: 第 79 回大阪泌尿器科臨床医会 (テーマ: 前立腺癌と CTIB), 2022 年 5 月 21 日, 大阪府大阪市
2. 木内寛: 第 29 回日本排尿機能学会 (テーマ: 腸内・膀胱内細菌叢と下部尿路機能障害), 2022 年 9 月 1 日, 北海道札幌市

【学術賞】

1. 鯉田 容平:
令和 4 年度大阪泌尿器科臨床医会学術奨励賞: 膀胱頸部温存下でのロボット支援下前立腺全摘除術後における尿禁制関連因子についての検討

婦人科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当科は2006年より腹腔鏡下手術に特化した診療を開始し、現在までに8,000例を超える腹腔鏡下手術を施行してきた。現在、良性疾患に対する手術を中心と診療をしており、子宮筋腫・子宮内膜症・子宮腺筋症・卵巣嚢腫・不妊症などを対象としている。これらの診断はあまり難しくはないと思われがちであるが、しばしば悪性診断との鑑別は重要であり、手術治療のための評価(手術を行う場合の難易度や子宮内膜症の重症度、癒着の有無)は容易ではない。われわれは、MRIゼリー法や経膈エコーによってダグラス窩病変に対しても術前に正確に評価することに努め、カンファレンスで患者のライフスタイルや人生設計などを考慮しながら、治療法を検討し、手術をする場合には、その時期や術式、術後の薬物治療(不妊症の場合には術後の治療内容や計画)についても十分検討している。

一般的に婦人科良性疾患の手術は、悪性腫瘍と異なり生命に関わることは少ないと思われがちであるが、大きな腫瘍や癒着を伴うものが多く、手術そのものは決して容易ではないものが多い。そのような症例に対して安全に確実に、そして術後のQOLを最大にしうる手術内容が求められている。腹腔鏡下手術は開腹手術に比べて腹腔内臓器や病変を拡大して観察することで細かい手術操作ができるところが大きく優れている。私たちは単に傷が小さいだけでなく、精細な操作による、より身体に優しい(出血が少なく、できるだけ術後癒着のない)手術、そして開腹手術では決して実現できないであろう手術内容を目指している。なお、良性疾患で開腹手術が妥当と考えられるものでリスクの高いものについては高次医療施設での手術をお勧めすることにして

『スタッフ』

松本貴 副院長兼婦人科部長(2006年4月入職)

細川有美 婦人科医長(2019年4月入職)

岩井夏実(2018年4月入職)

楠元理恵(2021年4月入職、2023年3月退職)

なお、天雲千晶、相本法慧(2023年4月入職)

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
婦人科	岩井 夏実		松本 貴		細川 有美		交代		天雲 千晶		松本 貴
			(予約初診)								(予約初診・ セカドオピコのみ)
	相本 法慧		細川 有美						交代		
			天雲 千晶						(予約初診)		
		岩井 夏実									
		相本 法慧									

『2023年の目標』

2022年はCOVID-19の状況がかなり落ち着き、医療系の学会も現地で開催されるようになり、初診患者数も増加している。現在も手術数を大幅に増加させるのは難しい状況であるが、患者QOLが最大になるよう一つ一つの手術を大切にしていってほしい。そして、スタッフの実力も安定してきており、能力を最大限に活用できるよう環境を整えていきたい。

2022年は当科主催のオンラインセミナーを5回開催し、毎回全国より200名を超える参加があった。また、オンラインで4名の産婦人科医に手術指導を行い、2023年3月には初の手術書『よくわかるTLH』（メジカルビュー社、松本貴著）を出版した。今後も手術教育については、同様の活動を続けていく予定である。

2. 診療実績

2021年		2022年	
外来患者数	6,240人	外来患者数	6,359人
初診患者数	593人	初診患者数	616人
入院患者数	2,315人	入院患者数	2,284人

婦人科手術実績

	2021年度	2022年度
手術総数	347	352
腹腔鏡下子宮全摘術	151	162
深部子宮内膜症を含む	24	20
腹腔鏡下子宮筋腫核出術	71	83
腹腔鏡下子宮附属器腫瘍摘出術	82	58
卵巣嚢腫核出術	25	23
子宮附属器摘出術	11	24
腹腔鏡下卵管摘出術	11	24
腹腔鏡下子宮内膜症病巣切除術（子宮全摘術を伴わないもの）	22	17

3. 業績

【学会】

1. 松本貴：ランチョンセミナー19『令和時代のスキルアップストラテジー』講演『ラパロを制すにはまず左手から～Move the ground、術野展開、そして視空間認知～』、第74回日本産科婦人科学会、2022年8月6日：福岡県福岡市
2. 山口純子（解説カイロプラクティック）、松本貴：「月経痛を解説する～痛みはコミュニケーションの型によって起こっている～」、第50回日本女性心身医学会 2022年8月27日、Web開催
3. 松本貴、楠元理恵、岩井夏実、細川有美：シンポジウム2 「特殊なLM症例に対する攻略法」「横切開で行う巨大子宮頸部筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術」、第62回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：2022年9月8日 神奈川県横浜市

4. 楠元理恵, 松本貴, 岩井夏実, 細川有美: 一般口演 2 「筋腫摘出術①-治療成績」 「当院での巨大子宮筋腫に対する腹腔鏡下子宮筋腫核出術の検討」, 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2022 年 9 月 8 日: 神奈川県横浜市
5. 細川有美, 松本貴, 楠元理恵, 岩井夏実: 一般口演 10 「腹腔鏡手術 (その他) ①-治療成績・手術手技」 「子宮内膜症の疼痛コントロールが困難症例への腹腔鏡手術後の経過をイメージしたレルゴリクスチャレンジテストの有用性」, 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2022 年 9 月 8 日: 神奈川県横浜市
6. 岩井夏実, 松本貴, 楠元理恵, 細川有美: 一般口演 35 「子宮全摘術 (良性疾患) ⑩-手術手技・症例報告」 「離開をさせない! 腔断端 2 層縫合の工夫」, 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2022 年 9 月 9 日: 神奈川県横浜市
7. 松本貴, 楠元理恵, 岩井夏実, 細川有美: シンポジウム 6 「深部子宮内膜症手術を安全に行うために」 「骨盤痛を伴う深部子宮内膜症に対する TLH」, 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2022 年 9 月 10 日: 神奈川県横浜市
8. 松本貴: ランチョンセミナー14 トップランナーの子宮内膜症手術戦略 ~機能温存手術と根治手術~ 『劈開面を探せ! 深部子宮内膜症に対する TLH』, 第 62 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会, 2022 年 9 月 10 日: 神奈川県横浜市
9. 中山朋子, 松本貴: 一般演題 8 教育・工夫 1 コロナ禍における内視鏡技術認定医習得への道~ビデオクリニックを経験して, 第 45 回日本産科婦人科手術学会, 2022 年 11 月 12 日: 石川県金沢市
10. 松本貴: Upstream ウェビナー 『よく分かる TLH 序盤戦その 1 ~膀胱の剥離~』, 2022 年 11 月 19 日: Web 開催
11. 松本貴: <特別講演>よくわかる TLH~尿管周囲の構造変化: 子宮内膜症篇~, 第 56 回 FSiMA 国際医療塾 ~, 2022 年 11 月 26 日: Web 開催
12. 岩井夏実, 松本貴, 楠元理恵, 細川有美: ミニオーラル 68 産婦人科 工夫・その他 「深部子宮内膜症切除術に関する系統的アプローチ」, 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 8 日: 愛知県名古屋市
13. 楠元理恵, 松本貴, 岩井夏実, 細川有美: ACUM と JCA を疑われ当院で手術を施行した 2 症例, 第 67 回日本生殖医学会学術講演会・総会, 2022 年 11 月 4 日: 神奈川県横浜市

【講演会】

1. 松本貴: 講演と質疑応答 Medtronic Virtual Operating Room Tour (VORT) バーチャル手術見学ツアー ~リアルを超えた手術見学~, 2022 年 7 月 9 日: 東京都品川区
2. 松本貴: 第 16 回西梅田ラパロセミナー テーマ: 術者のパフォーマンスを上げる「術者のパフォーマンスとは?」, 2022 年 10 月 15 日: Web 開催
3. 松本貴: エチコンウェビナー 深部子宮内膜症切除への理論と情熱 第 2 回関西編 エキスパートレクチャー③ 『劈開面はどこにある? ~探さなくても、適切な剥離層は自然に出てくる~』, 2022 年 12 月 12 日: Web 開催
4. 松本貴: 『序盤戦その 2 ~側方アプローチ~』, Upstream ウェビナー, 2023 年 2 月 9 日: オンライン
5. 松本貴: 特別講演 『レルゴリクスと子宮内膜症手術』, 兵庫県の女性疾患診療を考える会, 2023 年 3 月 23 日: 神戸市 (Hybrid 開催)

【座長・司会】

1. 松本貴：ミニオーラル 183 産婦人科 症例報告 1, 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 9 日：愛知県名古屋市

【論文】

1. 岩井夏実、佐伯 愛、楠元理恵、浅野正太、細川有美、松本 貴：当院における鼠径部子宮内膜症 23 症例の治療経験, 日産婦内視鏡学会雑誌 38 : 11-18, 2022

【著書】

1. 松本貴：よくわかる TLH, メジカルビュー社, 2023

【講演会（当院主催）】

1. 第 12 回西梅田ラパロセミナー（テーマ：フアシアの謎を解く）, 2022 年 4 月 15 日, Zoom ミーティング（参加者 250 名）
2. 第 13 回西梅田ラパロセミナー（テーマ：点と点がつながるキャリアデザイン）, 2022 年 5 月 13 日, Zoom ミーティング（参加者 150 名）
3. 第 14 回西梅田ラパロセミナー（テーマ：患者さんの術後の人生を考える） 2022 年 6 月 24 日, Zoom ミーティング（参加者 200 名）
4. 第 15 回西梅田ラパロセミナー（テーマ：『腔の展開』）, 2022 年 7 月 30 日, Zoom ミーティング（参加者 280 名）
5. 第 16 回西梅田ラパロセミナー（テーマ：術者のパフォーマンスを上げる）, 2022 年 10 月 15 日, Zoom ミーティング（参加者 200 名）

眼科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

地域の病診連携に於いて緊急手術および入院の要請に確実に応えられるようにしている。

2020年度から大阪大学眼科医局派遣医師による当院健康管理センター施行の一般・特殊健診・ドック等での眼底写真の一次読影、色覚検査の判定を行っているが、眼底写真の二次読影は引き続き眼科スタッフで行っており、電離放射線健診における水晶体検査も眼科外来に於いて眼科スタッフで施行している。月曜外来は大阪大学眼科医局から健康管理センターへの派遣医師が兼務している。

『スタッフ』

医師 常勤 井上由美子

非常勤 片上千加子 塚本裕次 塚本浩子 長谷川琢也

視能訓練士 常勤 森田亜紀子 蔵重聡美

非常勤 月1名 火2名 水1名 木2名 金2名

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
眼科	担当医 (9:00~11:00) (初診・薬のみ)		井上由美子	長谷川 琢也	片上 千加子	塚本 浩子	井上由美子		井上由美子		井上由美子
			長谷川 琢也	網膜硝子体外来 (予約制)	(予約優先)	/塚本 裕次			長谷川 琢也		
			網膜硝子体外来 (予約制)			(13:30~) (予約優先)			網膜硝子体外来 (予約制)		

『2023年の目標』

- ・本格的にアフター・ウイズコロナ体制とし、手術増患に対応していく。
- ・新規導入した広角眼底カメラを活用し、無散瞳診察の患者に対しても積極的に周辺部網膜病変の検索をし、特に網膜剥離の早期発見・早期治療につなげていく。

2. 診療実績

2021年度		2022年度		2021年度手術		2022年度手術	
外来患者数	7,348	外来患者数	6,830	水晶体再建術	256	水晶体再建術	249
初診患者数	601	初診患者数	697	硝子体茎	90	硝子体茎	120
入院患者数	1,025	入院患者数	1,199	顕微鏡下離断術		顕微鏡下離断術	

耳鼻咽喉科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当院耳鼻咽喉科では紹介状なしでも診察時間内であれば受診されたすべての患者様を診察するよう心がけています。頭頸部・咽喉頭・鼻腔領域では、血液検査、ファイバー検査、CT 検査、MRI 検査、超音波検査などで腫瘍、感染疾患に対応しています。内耳領域では、聴力検査、ティンパノメトリー、重心動揺検査、ENG 検査、vHIT、前庭誘発筋電位 (VEMP)、シェロング試験、CT 検査、MRI 検査 (内耳造影 MRI は協力病院にて施行可能) など大学病院にも劣らない設備で内耳疾患に対して精査をすることができます。特に『めまい・難聴診療』に対して力をいれています。

『スタッフ』

常勤医 1 名 (白石 功) で日々の診療に携わっています。

常勤医である白石 功は 2021 年 4 月より近畿大学病院耳鼻咽喉科教室から赴任してきました。

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
耳鼻咽喉科 ／難聴外来	松山 尚平								小泉 敏三		
	白石 功	白石 功 一般外来 13:30～ (めまい・難聴 検査) (予約制)	白石 功	白石 功 一般外来 13:30～ (めまい・難聴検査) (予約制)	白石 功	白石 功 (めまい・ 難聴検査) (予約制)		(めまい・難 聴検査) (予約制)	白石 功	白石 功 一般外来 13:30～ (めまい・難聴検査) (予約制)	白石 功 (予約制)

『2023 年の目標』

めまい・難聴患者の満足度を高める。

2. 診療実績

めまい検査、難聴検査を水曜日以外毎日行っています。APD に対する APT 検査も長期間待つことなく行えます。両検査 2022 年は 100 件を超えています。

2021 年		2022 年	
外来患者数	3,015 人	外来患者数	3,513 人
入院患者数	155 人	入院患者数	86 人
めまい検査件数	111 件	めまい・難聴検査件数	195 件

放射線科

1. 概要

『部署の方針と特徴』

病院の理念に基づき、放射線科では患者様・受診者様へ安全で、安心できる検査を提供するために被ばく線量低減に務め、チーム医療の一員として行動し自己研鑽研を積んでいる。

また、引き続き地域医療機関からの検査を積極的に受け入れ、第一線の地域医療を担うかかりつけ医の皆様へ尽力いたします。

『スタッフ』

放射線科部長 森田 吉多佳 日本専門医機構 放射線科専門医、
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
リザーバー&ポート研究会 世話人

診療放射線技師 19名

『2023年度の目標』

2022年に更新したMRI・CT装置が本格的に稼働し、結果、前年度比MRI 128%、CT 116%と増加した。地域医療機関からの病診連携を介した大型医療機器検査では、前年度比MRI 532%、CT 200%と大幅に増加した。今後も柔軟な対応を心がけPR活動を行いながら、地域の先生方と密に連携し医療レベル向上に寄与していきたい。また、検査増加や質的向上を図るため今年度2名の新卒技師を迎えた。さらに強化されたチーム医療実現のために科内修練を行いたい。

患者様・受診者様の視点に立って考え、丁寧なコミュニケーションを取り、安心・安全な医療を目指すべく日々努める。

2. 診療実績

健診部門検査件数

項目	2021年度	2022年度	前年度比
一般撮影（胸部）	63,726	67,932	107%
CT検査	823	918	112%
MRI検査	935	1,024	110%
マンモグラフィー	7,788	8,229	106%
透視検査	18,260	18,129	99%
骨密度	1,213	1,283	106%

外来部門検査件数

項目	2021 年度	2022 年度	前年度比
一般撮影	8,561	10,540	123%
CT 検査	3,674	4,229	115%
MRI 検査	2,451	3,048	124%
マンモグラフィー	373	400	107%
透視検査	485	498	103%
骨密度	498	680	137%
心臓カテーテル検査	674	638	95%
病診連携 CT 検査	31	62	200%
病診連携 MRI 検査	25	133	532%

放射線科外来件数

2021 年度	2022 年度	前年度比
709	1,004	142%

3. 業績

【各種認定資格者】

- 日本専門医機構認定放射線科専門医 1 名
- 検診マンモグラフィ撮影技師 7 名
- X 線 CT 撮影技師認定技師 5 名
- 日本消化器がん検診学会胃がん検診専門技師 3 名
- 胃 X 線読影補助認定技師 2 名
- 胃がん検診読影部門 B 資格認定技師 5 名
- 肺がん CT 検診認定技師 1 名
- 血管造影 (IVR) 技師認定技師 1 名
- 救急撮影認定技師 1 名

【施設基準】

画像診断加算 2 取得施設

【学会・研究会】

- ・市村真太郎、他、コロナ禍での検査稼働状態で、CT・MRI 装置ダブル更新を行った当院の取り組み、第 63 回全日本病院学会 in 静岡、静岡県浜松市

麻酔科

1. 概要

『当科の方針と特徴』

当科の方針は、手術患者の術前評価を的確に行い、麻酔合併症を起こさないことです。

1階入退院センターに術前外来を設け、麻酔説明ビデオ視聴、麻酔科医診察、手術看護師説明を行い、そのうえで、患者様に一番適した麻酔法、術式を計画しています。

手術室には、腹腔鏡に適した人工呼吸のできる最新の麻酔器を導入しています。

また、手術患者様の不安の多くは、手術後痛いのではないかとこのところにあります。超音波ガイド下神経ブロックに力を入れており、痛くない術後管理を目指しています。

当院は、麻酔科医全員が、麻酔科専門医であり、質の高い麻酔を提供し、患者様の安全安心を一番に考えています。

『スタッフ』

麻酔科部長	早助弓子	日本専門医機構認定麻酔科専門医	日本麻酔科学会指導医
麻酔科主任	朝倉芳美	日本専門医機構認定麻酔科専門医	日本麻酔科学会指導医
麻酔科主任	松田千栄	日本専門医機構認定麻酔科専門医	日本麻酔科学会指導医
麻酔科主任	春日千春	日本専門医機構認定麻酔科専門医	日本麻酔科学会指導医

『診療日程』

	月		火		水		木		金		土 第2・4週
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
麻酔科 (術前外来)		早助 弓子		交代						交代	交代

麻酔科外来 月午後、火午後、金午後、土午前 交代制

『2023年度の目標』

麻酔科医、看護師、薬剤師からなる術後疼痛管理チームを結成し、さらなる「痛くない」手術を目指します。

2. 診療実績

2021年度		2022年度	
麻酔管理手術件数	909件	麻酔管理手術件数	1,080件
婦人科	347件	婦人科	358件
整形外科	253件	整形外科	326件
外科	180件	外科	210件
泌尿器科	121件	泌尿器科	174件

2022年度は2021年度より麻酔科管理手術数が171件増加した。

リハビリテーション科

1. 概要

『部署の方針と特徴』

当科は、整形外科の膝関節・股関節・肩関節の術後（関節鏡、人工関節置換術など）リハビリテーションを中心に行っている。膝・股関節人工関節置換術後のリハビリテーションでは、2020年からロボットリハビリテーション（Honda 歩行アシスト）を導入し、安定した歩行能力の早期獲得を目指している。また、患者様の動作パフォーマンスの向上やスポーツ復帰を希望される方への運動指導として、個々の競技特性に応じた各種トレーニングやピラティス専用器具を使用した運動療法も行っている。

『スタッフ』

リハビリテーション科部長 坪田 次郎
理学療法士 6名 主任 平野 弘臣
副主任 吉田 昌広、大村 貴子
秋山 恵津子、益原 理緒、竹田 七海

『2023年の目標』

リハビリテーション技術の研鑽と接遇力を強化し、患者満足度の向上に努めることで患者様から選ばれるリハビリテーション科を目指す

『施設基準認定』

運動器リハビリテーション料（Ⅰ） 呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）

2. 診療実績

リハビリ実施件数（外来・入院）

外来患者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	84	75	90	74	85	92	109	102	88	89	71	87	1,046
2022年	87	80	82	94	98	114	130	123	126	132	102	137	1,305
入院患者件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	517	527	771	600	572	591	630	607	610	521	561	756	7,263
2022年	777	694	904	845	752	724	684	710	832	640	754	836	9,152

3. 業績 その他の活動

院内職員向けの福利厚生として「健康増進運動教室開催（ピラティスなど）」

薬剤部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

「医療の担い手として生命を尊重し、患者様の安全と安心に貢献し、適切な薬物治療を提供します。」を薬剤部の理念とし、業務に取り組んでいる。薬剤管理指導業務は投薬のある入院患者様に対し 2022 年度も実施率ほぼ 100%を維持してきた。後半にはスタッフも補充され、ペリオ外来の診療科を拡げてより多く患者様と入院前から関わり、治療が安全に進むよう薬剤師としての役割をスタッフ全員が意識し、業務に携わっている。

『スタッフ』

薬剤師 10 名 ・ 事務員 1 名

『2023 年の目標』

薬剤部理念に基づき、チーム医療の一員として薬物治療に貢献していく。

2. 診療実績

処方箋枚数

2021 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
外来院外	5,273	4,853	5,340	4,945	5,274	5,238	5,183	5,199	5,489	5,081	4,905	5,697	62,482
外来院内	4	6	4	26	38	7	4	6	13	6	2	7	123
外来注射	295	261	316	293	292	294	286	289	277	258	285	322	3,468
入院処方	2,583	2,504	2,704	2,673	2,603	2,640	2,722	2,581	2,841	2,351	2,807	3,111	32,120
入院注射	895	867	1,012	927	805	882	896	877	910	838	874	1,014	10,797

薬剤管理指導算定件数

2021 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
指導件数	541	517	614	592	635	561	595	574	589	497	599	649	6,973

無菌調剤件数

2021 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
抗癌剤	11	11	9	6	9	7	12	11	9	9	9	8	111
その他	8	13	7	10	7	9	11	7	12	5	10	6	97

3. 業績

鶴岡早央里, 竹内千里, 天王寺谷彩奈, 岡田美織, 片山弥生, 波多野晃弘, 美内雅之: 糖尿病診療における Clinical inertia の検討 日本病院薬剤師会雑誌 ; Vol. 58 No. 4 2022

中央検査部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

部門のモットーは「正確な検査結果を迅速に提供する」。

- ・2022年4月に新卒者2名を採用し、35名の臨床検査技師が健診検査部門、生理検査部門、検体検査部門、病理検査部門で業務を行っている。病理検査の診断については非常勤の病理医師にて診断をお願いしている。検体検査室は伯鳳会としてFMS契約の3年目に入ったところである。正職員の退職は3名、準職員の退職が4名あり、人員の入れ替わりが業務の負担となった。準職員2名を正職員へ身分変更して業務の安定へとつなげた。
- ・新型コロナウイルス感染対策として祝日の入院患者の核酸検出検査を実施し、院内感染防止対策（院内クラスター発生防止）へ貢献した。
- ・教育面では、5/16～6/24に臨地実習生1名（長浜バイオ大学バイオサイエンス科）を受け入れ指導を行った。
- ・日本医師会精度管理調査の結果は99.5点となり、良好な結果であった。
- ・災害医療対応車両のMedical-ConneX搭乗員2名は福島県、埼玉県、静岡県、兵庫県での訓練や展示イベントに参加した。

『スタッフ』

部長 桑迫 崇裕 技師長 坂東 雅彦

常勤医師1名 非常勤病理医4名 正職員技師31名 準職員技師3名
嘱託職員技師1名

『認定資格取得状況』

超音波検査士15名 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理技師1名、細胞検査士3名
国際細胞検査士2名 認定輸血検査技師1名 認定血液検査技師1名
二級臨床検査士9名（循環生理学、免疫血清学、血液学、臨床化学、病理学）
緊急臨床検査士10名 総合健診指導士1名 日本乳がん検診（A・B評価）4名
AMAT隊員2名

『2023年度の目標』

「正確な検査結果を提供するために知識の向上に努め、中央検査部で学会発表を1件以上行う。」を念頭に置き業務を遂行する。

2. 検査実績

前年度に比べると検査件数は増加、外来および入院患者数の安定が要因である。更に手術件数の増加によって、手術前の感染症検査や呼吸機能検査が増えた。

	2021 年度	2022 年度
生化学検査	1,557,304	1,656,149
血液学検査	153,954	165,267
一般検査	208,557	218,423
免疫血清学検査	121,334	131,361
細胞診検査	15,561	17,092
病理組織検査	2,144	2,273
超音波検査（心臓）	3,476	3,628
超音波検査（腹部・表在等）	48,100	50,846
呼吸機能検査	17,643	18,712
心電図検査	72,275	77,190
トレッドミル検査	1,687	1,760
ホルター心電図	358	355
血圧脈波・肛門内圧検査	579	716

3. 業績

【座長・司会】

1. 坂東 雅彦 「機器・試薬のプロセスについて」 臨床化学 ワークショップ2
第71回日本医学検査学会 2022年5月21日 ATCホール 大阪市港区
2. 坂東 雅彦 「病理・血液・化学／総合管理・運営」第6回大臨技医学検査学会
2023年2月26日 大阪府立国際会議場 大阪市北区

【特別講演】

1. 坂東 雅彦 「医療法改正に対応した試薬・機器管理の記録」精度保証のお悩み解決塾
日臨技認定センター単位承認研修会、令和4年度大臨技免疫化学検査部門
2022年10月30日 Web配信（オンデマンド配信）

【論文・著書】

1. 山本 真大 「計測する項目と記録断面がわかる！病態別・類似疾患別 心エコー検査のルーティーン」総論（基本断面・基本計測と時相）、各論 先天性心疾患（大動脈の先天性異常）、巻末付録（心エコー基準値）
医学書院 臨床検査 Vol.66 No.4 2022年4月号 増大号
pp. 328-334, pp. 335-347, pp. 541-552, pp. 565, 2022

臨床工学部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

臨床工学部は、2018年4月より独立し新設された。技術の向上に励み、他職種との連携を深めチーム医療に貢献し、より質の良い医療を患者様・スタッフに提供することを目標に様々な臨床行に携わっている。

『スタッフ』 部長：早助弓子（麻酔科部長・手術部部長）

臨床工学技士 3名

2. 診療実績

血管造影業務

心臓カテーテル検査・治療、心臓ペースメーカーの植え込み、経皮的カテーテル心筋焼灼術など関連機器の操作、使用材料の管理を行っている。

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CAG	27	21	28	32	20	25	31	19	23	17	20	32	295
PCI	19	17	18	18	19	20	16	16	16	18	20	18	215
PTA	1	3	3	2	1	2	1	1	1	2	2	3	22
ABL	8	7	8	4	8	4	6	8	8	6	6	6	79
PMI	1	1	0	1	1	0	1	3	2	2	1	0	13
他	2	1	0	1	1	3	1	1	2	1	2	1	16
PM 外来	22	13	12	15	11	18	16	8	17	19	20	14	185

血液浄化業務

血液透析、血漿交換、LDLアフェレーシス、血液吸着、他特殊浄化を行っている。

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD	10	19	0	0	3	4	2	3	1	1	2	0	45
DFPP	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
LDL-A	22	22	24	31	24	25	24	21	24	23	19	26	285
他	0	0	1	8	2	0	0	0	0	0	0	0	11

手術室業務

手術支援ロボット（泌尿器科：Davinci 整形外科：MAKO）

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
Davinci	2	1	1	1	2	4	2	5	3	3	1	4	29
MAKO	18	18	19	15	19	18	20	18	19	18	20	23	225

医療機器管理業務

院内の様々な医療機器の保守・修理・点検を行い安全に使用できるよう管理運営している。

輸液ポンプ・シリンジポンプ・セントラルモニター・ベッドサイドモニター・パルスオキシメーター・PCPS・IABP・IVUS など

栄養部

1. 概要

『部署の方針と特徴』

入院患者に対して正しく栄養評価を行い適切な栄養サポートを実践する。栄養指導においては患者個人に見合った食事指導を展開し合併症の進展防止や重症化予防につながるよう取り組んでいる。

『スタッフ』

栄養部長 美内雅之 管理栄養士 3名(糖尿病療養指導士 2名、病態栄養専門管理栄養士 1名)
給食委託会社スタッフ (管理栄養士 1名、栄養士 2名、調理師 2名、調理作業員 13名)

『2023年の目標』

栄養介入が必要な患者に対して多職種と共同して栄養管理を行い、栄養介入で得られた結果を分析し日々の栄養管理、栄養指導業務に反映させるとともに入院食事内容の充実化を図る。

2. 診療実績

2022年度栄養指導実績

(単位：件)

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入院	76	62	81	81	62	83	82	78	82	59	88	105	78
外来	140	107	121	105	120	108	127	125	122	107	113	142	120
集団指導	3	0	3	9	4	3	3	4	3	1	4	6	4

2022年度特食加算

(単位：%)

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
特食加算	40	38	42	41	35	46	42	45	43	39	38	40	41

3. 業績

【学会発表】

- 片山弥生、岡田美織、天王寺谷彩奈、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、奥谷美栄子、武内真有、山木香名、明神真希子、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之
低栄養状態の2型糖尿病における栄養摂取調査
第65回日本糖尿病学会年次学術集会、2022年5月12-14日：兵庫県神戸市

2. 天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生、鶴岡早央里、長田志織、竹内千里、奥谷美栄子、武内真
有、山木香名、明神真希子、波多野晃弘、南 雄三、美内雅之
2 型糖尿病の血糖管理における外食習慣の影響の検討
第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2022 年 5 月 12-14 日 : 兵庫県神戸市

3. 天王寺谷彩奈、岡田美織、片山弥生、奥谷美栄子、能澤鈴佳、竹内千里、山木香名、明神真希
子、武内真有、南 雄三、美内雅之
2 型糖尿病の外食習慣へのアプローチ～摂取栄養素量からみた栄養指導～
第 59 回日本糖尿病学会近畿地方会, 2022 年 11 月 5 日 : 兵庫県神戸市
第 58 回日本糖尿病協会近畿地方会, 2022 年 11 月 5 日 : 兵庫県神戸市

4. 片山弥生、天王寺谷彩奈、岡田美織、奥谷美栄子、山辺鈴佳、竹内千里、井上智香子、山木香
名、武内真有、南 雄三、美内雅之
2 型糖尿病患者における Body mass index (BMI) と体細胞量 (Body cell mass, BCM) 別に
みた栄養摂取状況の検討
第 26 回日本病態栄養学会年次学術集会, 2023 年 1 月 13-15 日 : 京都府京都市

看護局

1. 概要

『部署の方針と特徴』

看護局の理念は「共にあゆむ最善の看護」で、患者様やご家族と共に医療スタッフと共に安全で良質な看護を提供することです。看護局の基本方針は「個別性を大切にする看護」、「チーム医療の推進」、「自己研鑽と意識改革」です。健診における予防から治療に至るまで受診者様や患者様を取り巻くすべての人々と協働し、看護の力が最大限に発揮できるよう取り組んでいます。

『スタッフ構成』 看護師 病棟：60名（平均年齢：37.3歳）

外来その他：93名（準職員・産休・育休含む）

平均在職年数：9.4年 離職率：11.3%

看護補助者：11名 内視鏡洗浄員：6名 中材滅菌洗浄員：6名

『看護体制』

急性期一般入院料1（7：1）重症度、医療・看護必要度Ⅱ

2交替制（病棟）固定チームナーシング受け持ち制

看護職員夜間配置加算（12対1加算1）

25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）

看護補助体制充実加算（2022年9月取得）

『看護実践面』

認知症ケア加算3

せん妄ハイリスク患者ケア加算

糖尿病透析予防指導管理料（2022年12月施設基準取得）

入退院支援加算2 / 入院時支援加算2

患者サポート体制充実加算（2023年3月取得）

『2023年の目標』

- 急性期一般入院料1の維持/看護職員夜間配置加算の維持/25対1急性期看護補助体制の維持/医療安全対策の推進（身体拘束予防・最小化）/入院時カンファレンスの質の向上/入退院支援センターと病棟の役割明確化
- 患者満足度の向上/院内感染対策の推進・クラスター防止/褥瘡予防対策
- 新人教育/災害時教育・研修/キャリアラダー別研修の継続/実習指導者の育成・質の高い実習指導の提供/管理者教育
- 病床稼働率の上昇・効率的なベッドコントロール/超過勤務時間の削減/術後疼痛管理チーム加算の取得

看護必要度（%）

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10階病棟	44.7	41.6	39.0	38.1	40.8	43.5	48.7	41.4	48.0	48.4	50.2	47.4
11階病棟	31.8	36.2	31.3	28.2	32.6	26.7	28.1	29.3	29.6	39.8	39.8	41.0
12階病棟	69.4	64.2	60.5	56.3	55.8	55.6	58.3	66.5	63.4	57.2	58.6	54.4
3病棟合計	47.5	47.7	43.6	41.7	42.9	42.5	46.8	45.9	48.0	48.9	49.9	48.0

2. 委員会活動実績

	目標	実績
教育委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 当院実施事業とキャリアアップに応じた院内教育研修を企画・運営する。 2. 研修と自己学習に意欲的に参加できるよう教育委員として関わる。 	<p>対面研修を多数設定。GWでの意見交換や救急看護は高評価であった。SWAT分析やリフレクション等、目的に即したテーマを選択した。自己評価シート作成検討した。e-ラーニング総アクセス率は89.9%で活用度は高かった。</p>
安全推進委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. インシデントレポートを分析・共有し看護実践に生かす。 2. ライト実施と知識を深め、危険予知に役立てる。 3. 医療安全マニュアルを刷新し、周知させる。 	<p>毎月各部署のインシデント数と傾向・対策を報告し、概要とKYT分析、対策を共有した。市北支部交流会伯鳳会Web会議の内容を伝達した。導線を考慮したライト表作成と環境ライト実施。毎月抄読会実施。機能評価機構項目に沿った内容を洗い出し、チェック方式のマニュアルを刷新した。</p>
記録委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 記録監査の再導入。 2. 記録に関わる現状での問題点を解決する。 	<p>各部署毎の記録監査用紙及び記録監査基準を作成した。時間を要したため今年度の導入には至らず、監査の実施方法についても課題が残った。電子化導入後、大きな問題点はなくマニュアル改訂するような事例は発生しなかった。</p>
リンクナース会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染経路と予防策を理解し、院内の感染対策を再確認する。 2. 院内で適切な感染対策を統一する。 	<p>ICTメンバーと環境ラウンド（年6回）実施。手洗いチェッカー巡回、手指衛生の啓発と使用量測定。PCR検査検体採取、取扱い方法、N95マスクフィット確認。ゾーニングの見直し。高頻度接触部の環境整備手順作成。</p>
実習指導者会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全で安心して臨地実習が実施できる。 2. 実習指導担当者と知識を共有し互いに成長することができる。 	<p>実習経験の乏しい学生のレベルを把握した刺エネーションを実施。写真・動画撮影を禁止事項に追加。実習担当者に自己評価表を事前配布して指導内容、注意点を伝えた。指導者講習会の伝達研修実施。</p>
主任会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新採用者支援システムの見直しを行い新人看護師の教育システムを確立する。 2. 中途採用者へのサポート体制を確立する。 3. ファシリテーター型リーダーシップがとれるよう主体性を育成する。 	<p>新人看護師刺エネーション、年間教育スケジュールを見直し改訂した。現代の若者の特徴や背景の勉強会実施。中途採用者のサポートシステムを見直し、支援者の留意点、面談方法をマニュアルに追加した。学習会及び主任として困ったことを意見交換し問題解決につながった。手術室から病棟への申し送り内容を簡素化した。</p>
看護補助者会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常業務を見直し、問題点を解決できる。 2. 看護補助者業務に必要な知識、技術が習得できる。 	<p>看護補助者の業務範囲と内容、区分を設定し、周辺業務は生活環境に関わる業務、診療に関わる業務、直接ケアは日常生活に関わる業務と一覧表を作成。直接ケア実施後は業務分担表にサインすることとした。年12回のe-ラーニング研修を全員受講しマニュアル確認した。</p>
業務委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病棟看護手順内の見直し、改訂。 2. 新人看護職員技術マニュアル作成。 	<p>「各種業務の取り扱い」について検討し、29項目を追加修正した。看護職員技術マニュアルの項目内容を検討した。ビジョアルトニングネット新人看護職員技術チェックリストから51項目のマニュアルを追加作成した。</p>

3. 臨地実習指導実績

大阪医専看護専門学校

実習科目	学年	実習期間	人数	総人数	実習指導者数	
成人看護学実習Ⅰ	第4学年	5/9～5/25 (11日間)	4名	57名	18名	左記人数の内 講習終了者8名
成人看護学実習Ⅱ	第4学年	5/9～5/25 (11日間)	5名			
成人看護学実習Ⅲ	第4学年	5/9～5/25 (11日間)	5名			
統合実習	第4学年	6/20～7/1 (10日間)	15名			
基礎看護学実習Ⅰ	第1学年	7/13・7/14 (2日間)	15名			
基礎看護学実習Ⅱ	第2学年	11/7～11/22 (10日間)	13名			

関西看護専門学校

実習科目	学年	実習期間	人数	総人数
成人看護学実習Ⅱ	第4学年	5/30～6/17 (12日間)	10名	19名
成人看護学実習Ⅱ	第4学年	9/5～9/30 (16日間)	9名	

4. 看護研究実績

- ・ 第 63 回全日本病院学会（静岡）口演発表 2022 年 10 月
「採血状況記録用紙改訂による看護師の精神的負担軽減調査」
「ロボット支援手術システムによる人工関節置換術における上肢固定用具の製作とその有用性」

健康管理センター

1. 概要

『健康管理センターの方針と特徴』

2020年度は新型コロナウイルス感染症蔓延による受診控えおよび緊急事態宣言発出に伴う厚生労働省や関連学会・団体の勧告および当時の経営母体（健康保険組合連合会）の指示に従い4月上旬から5月末まで約1.5ヵ月間健診業務を休止したため総受診者数62,900人（人間ドック受診者数12,700人）と受診者数は大きく減少したが、2020年6月の業務再開以降は健診関連8団体の「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」を遵守して健康診断・保健指導を滞りなく実施してきたことで受診者数は順調に回復しており、2021年度は総受診者数67,473人（人間ドック受診者数14,675人）、2022年度は総受診者数71,949人（人間ドック受診者数15,241人）と、受診者数は過去最高だった2019年度の総受診者数73,800人（人間ドック受診者数14,400人）に近い水準まで回復している。

当センターは総合病院併設型の健診施設で計3フロアから構成され、受診当日に結果説明・保健指導を実施する人間ドックを6F・8Fで、当日の結果説明は実施されないが必要な受診者に対して受診勧奨・保健指導が行われる一般健診を8F・9Fで行っている。

2000年以降の健診データ、2008年以降の画像・心電図データはすべてサーバーに保管されており、必要時に過去データの参照が常に可能であることが健診・検診精度の向上に寄与している。さらに病院併設型の健診施設のため各診療科との連携が緊密であることから、要受診・要精密検査と判定された受診者の診療科外来予約が容易・円滑となっている。また、診療科外来と健診部門で共通の受診者IDを使用していることから、診療科外来への紹介状作成・受診者データ伝達および健診部門における診療科外来受診結果の把握が速やかかつ円滑に行われている。健診から各診療科外来への紹介患者総数は2020年度は3,341名（外来初診患者総数の42.3%）と健診受診者数の減少に伴い減少したが、2021年度は3,840名（外来初診患者総数の51.8%）、2022年度は3,742名（外来初診患者総数の45.0%）とこちらもコロナ感染症蔓延前の2019年度の4,315名（外来初診患者総数の37.0%）に近い水準まで回復しつつある。

当センターの運営方針は、受診者の皆様に「信頼」され「納得」いただける健診・検診を「平等」に提供することであり、そのために全職員が常に向上心を持ちながら受診者の皆様にしっかり寄り添う健診・検診施設であり続けることを目指している。また、「要受診・要精密検査」の判定がなされた場合の精神的負担（特になん検診で顕著となる）および精密検査受診の際に生じる経済的・時間的負担などの健診・検診の「不利益」を可及的に最小化するため、受診を希望される検査の選択を判断する際に必要となる情報を医療面接・ホームページ含め十分に提供するとともに、健診・検診における要精密検査率を許容範囲内とするために検査を実施する技師および結果を判断・説明する医師の多くが関連学会・機構から健診・検診を実施するにおいて必要とされる資格を取得・更新しており、かかる資格取得を推奨・サポートする体制を施設としても整えている。さらに、健診・検診の質を客観的に評価して質の向上に反映させるため、学会および健診関連各種団体の精度管理調査・全国集計調査および優良施設認定審査に積極的に参加している。

『健康管理センターのアピールポイント』

① 脳ドックプレミアムコース

脳卒中（くも膜下出血・脳梗塞・脳出血など）の発症リスク評価、潜在している脳腫瘍の発見、物忘れ（良性加齢性健忘か？本物の認知症か？治療で治る認知症か？）の鑑別を行い、受診当日に担当する脳神経外科専門医/脳神経内科専門医が総合評価について説明を実施している。

② 心臓ドック

冠動脈狭窄に起因する心筋虚血の有無および交感神経優位の状態における危険な不整脈誘発可能性を評価する運動負荷心電図検査、心臓弁の状態および心機能を評価する心臓超音波検査、全身の動脈硬化の状態を評価する頸動脈超音波検査、血管年齢の推定が可能な血圧脈波検査および各種心臓バイオマーカー血液検査結果を総合的に評価して、受診当日に循環器専門医が総合評価について説明を実施している。

③ 女性専用フロア設定

人間ドックでは第1金曜日午前・第2土曜日午前を、一般健診では第2土曜日午前・第3金曜日午後を女性受診者のみが受診できる女性専用フロアとして設定しており、ドック結果説明と胃透視・胃カメラ検査を除くすべての検査を女性医師・技師が担当している。

④ 最新の上部内視鏡検査（胃カメラ）システムと胃がん発症リスクに基づく胃透視検査

胃カメラ検査では検査時に胃がん病変を発見することだけでなく、胃がん発症の危険因子であるヘリコバクターピロリ菌感染の有無を胃炎京都分類に従い判断することが重要であるため当センターでは2018年5月より富士フイルムメディカル社の新しい内視鏡システム（FUJIFILM LASERE07000）と上部消化管経鼻内視鏡（EG-L580NW7）を導入した。通常観察の白色光に加えて2種のレーザー光、すなわち粘膜表面の毛細血管の構造を強調するBLI（Blue Laser Imaging）および粘膜表面の赤色領域と周囲のコントラストを強調するLCI（Linked Color Imaging）の3種類の画像を組み合わせることで、より高い精度の診断が可能となっている。

また、上部消化管検診として現在なお重要な役割を果たしている胃透視（バリウム）検査においても、胃がん発症の危険因子であるヘリコバクターピロリ菌感染・除菌歴の有無を反映させた所見および判定結果の提示を行っている。

⑤ 特定保健指導 ICT による遠隔面接導入

新型コロナウイルス感染症蔓延においてやむを得ず対面面接・指導を中止する時期があり、受診者および健保からの要望をうけ、2021年7月よりICTによる遠隔面接を開始した。受診者の不安なく保健指導を実施できるようになり、現在では、他府県や海外転勤中の受診者とも面接・指導を行なっている。また、健診当日に特定保健指導初回面接実施の契約健保数が増加、当日実施率が全体の67%を占め年々上昇し、受診者の生活習慣改善支援につながっている。

⑥ 健診誘導支援システムの導入

2019年5月より、受診者の皆様がより快適に健診・検診を受診していただけるよう各検査での待ち時間の短縮を目的として、各検査終了時に待ち時間の少ない次の検査へご案内することを可能とする誘導支援システムを導入した。さらに、当センターは3フロアから構成されており同じ検査を実施する検査室が各フロアに分散するため、検査の待ち時間の短縮と同時にフロア間の移動をできるだけ少なくすることについても配慮されるよう設計されている。

⑦ 施設認定について

- ・ 人間ドック健診施設機能評価認定施設
- ・ 日本総合健診医学会優良総合健診施設
- ・ 健康評価施設査定機構認定施設
- ・ 人間ドック健診専門医制度人間ドック健診研修施設
- ・ 健保連人間ドック指定施設
- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診実施施設
- ・ 大阪市前立腺がん・乳がん・大腸がん検診実施施設、大阪市前立腺がん・乳がん精密検査精密検査協力医療機関
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
- ・ 日本乳癌検診学会 登録認証施設

『スタッフ』

健康管理センター長：弓場 健義

健康管理センター所長：雨宮 彰

健康管理センター専従・常勤医師：桑迫 崇裕、前田 健次、藤間 美帆、辻野 晶子、江崎 久男、岩本 有里子、倉敷 有紀子、大野 秀樹、大家 学、池上 陽一、北島 孝一、乾 哲也、小林 哲郎（特別顧問）

健康管理センター保健師：田中 登紀子（保健師長）、他 5 名

『診療日程』：すべて予約制（詳細はホームページを参照ください。）

- ・ 人間ドック：月～金曜午前、月～木曜午後、第 2・4 土曜午前
- ・ 一般健診：月～金曜午前・午後、第 2・4 土曜午前/
- ・ 脳ドック：火曜午後
- ・ 心臓ドック：木曜午後

『2023 年度の目標』

これまでどおり受診される皆様に「信頼と納得」いただける健診・検診を「平等」に提供できるよう万全の準備・対策を継続する。そのうえで 2023 年度は総受診者数 72,960 人以上、人間ドック受診者数 15,300 人以上を達成するとともに、受診者の皆様の満足度を反映する指標と考える反復受診率を引き続き 80%以上とするため、皆様に「信頼と納得」を実感していただける健診施設であり続けることを目標とする。

さらに、人気が高く予約が大変取りにくくなっておりご迷惑をおかけしている人間ドック（半日ドック）・上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）の受診枠拡大、そしてより快適な受診環境の実現についても健診フロア改装・増設を含め準備中である。

2. 診療実績

	2021年度(2021/04-2022/03)	2022年度(2022/04-2023/03)
人間ドック（半日ドック）	14,675	15,241
人間ドック（1泊ドック）	72	64
一般健診（当日結果説明なし）	52,139	56,055
脳ドック	42	36
心臓ドック	27	17
大阪市がん検診（乳房・大腸・前立腺）	133	176
子宮がん検診（超音波併用）	13,695	14,952
脳MRI/MRA	935	1,024
胸部CT（低線量肺がん検診）	823	918
マンモグラフィー	7,788	8,229
上部消化管造影（胃透視）	18,260	18,129
上部消化管内視鏡（胃カメラ）	16,446	17,561
心電図検査	59,568	68,110
超音波検査	40,367	42,684
特定保健指導（初回）	381	362

3. 業績

【学会発表】

亀川由香：採血状況記録用紙改訂による看護師の精神的負担軽減調査，第63回全国病院学会 in 静岡「アクトシティ浜松」：2022年10月1日～2日 静岡県浜松市

医事課

1. 概要

『部署の方針と特徴』

患者様が安心して当院をご利用いただけるよう、愛情と尊敬をもって接し、常日頃から信頼されるよう最良な対応を心掛ける。また自己研鑽に努め、グループ・組織へ貢献できるよう常に意識する。

『スタッフ』

医事課長 1名 ・ 医事課係長 1名 ・ 医事主任 1名

医事課職員 24名（入院・外来・1～4階受付・地域医療連携室・入退院受付）

『2023年の目標』

正確な診療報酬算定・返戻、減点防止改善策実施

取得基準項目の維持・上位取得・迅速な変更手続き等

医事課の安定（課員の定着率向上・業務の画一化・時間外勤務の削減）

2024年度診療報酬改定の準備（情報収集と関連部署への情報提供）

2. 各科別患者数

単位：人

		2022年度												合計
		内科	消化器内科	循環器内科	内科3科計	外科	整形外科	皮膚・形成外科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	
4月	入院	136	106	483	725	709	700	41	185	207	65	0	2,632	
	外来	1,145	481	1,846	3,472	1,388	751	418	847	523	625	284	8,346	
	合計	1,281	587	2,329	4,197	2,097	1,451	459	1,032	730	690	284	10,978	
5月	入院	31	78	447	556	723	656	31	143	205	63	17	2,394	
	外来	1,043	522	1,673	3,238	1,342	722	428	850	545	561	247	7,962	
	合計	1,074	600	2,120	3,794	2,065	1,378	459	993	750	624	264	10,356	
6月	入院	108	105	442	655	855	747	34	148	219	168	0	2,826	
	外来	1,157	591	1,810	3,558	1,605	782	441	940	577	688	307	8,960	
	合計	1,265	696	2,252	4,213	2,460	1,529	475	1,088	796	856	307	11,786	
7月	入院	158	88	447	693	909	767	88	166	193	128	2	2,946	
	外来	1,155	502	1,752	3,409	1,412	678	389	865	520	497	282	8,110	
	合計	1,313	590	2,199	4,102	2,321	1,445	477	1,031	713	625	284	11,056	
8月	入院	152	84	365	601	873	742	67	228	182	75	4	2,772	
	外来	1,182	608	1,784	3,574	1,528	840	421	933	567	476	297	8,708	
	合計	1,334	692	2,149	4,175	2,401	1,582	488	1,161	749	551	301	11,480	
9月	入院	118	64	488	670	802	622	95	171	157	85	5	2,607	
	外来	1,220	584	1,682	3,486	1,525	760	480	942	454	583	314	8,614	
	合計	1,338	648	2,170	4,156	2,327	1,382	575	1,113	611	668	319	11,221	
10月	入院	106	88	415	609	873	641	40	181	180	124	7	2,655	
	外来	1,202	540	1,846	3,588	1,497	797	450	898	546	557	307	8,708	
	合計	1,308	628	2,261	4,197	2,370	1,438	490	1,079	726	681	314	11,363	
11月	入院	91	82	442	615	797	679	32	200	185	109	3	2,620	
	外来	1,115	593	1,726	3,434	1,499	826	438	990	558	556	354	8,705	
	合計	1,206	675	2,168	4,049	2,296	1,505	470	1,190	743	665	357	11,325	
12月	入院	44	77	482	603	839	758	31	192	192	92	2	2,709	
	外来	1,174	619	1,861	3,654	1,560	820	472	997	520	540	329	8,953	
	合計	1,218	696	2,343	4,257	2,399	1,578	503	1,189	712	632	331	11,662	
1月	入院	46	63	350	459	708	534	55	196	192	77	0	2,221	
	外来	1,149	505	1,728	3,382	1,461	724	443	886	503	448	270	8,168	
	合計	1,195	568	2,078	3,841	2,169	1,258	498	1,082	695	525	270	10,389	
2月	入院	58	93	395	546	848	668	80	245	181	62	2	2,632	
	外来	1,080	609	1,647	3,336	1,476	736	414	876	529	411	355	8,193	
	合計	1,138	702	2,042	3,882	2,324	1,404	494	1,121	710	473	357	10,825	
3月	入院	43	100	417	560	916	765	86	228	232	125	2	2,914	
	外来	1,317	681	1,732	3,730	1,748	870	465	1,054	560	540	427	9,481	
	合計	1,360	781	2,149	4,290	2,664	1,635	551	1,282	792	665	429	12,395	
合計	入院	1,091	1,028	5,173	7,292	9,852	8,279	680	2,283	2,325	1,173	44	31,928	
	外来	13,939	6,835	21,087	41,861	18,041	9,306	5,259	11,078	6,402	6,482	3,773	102,908	
	合計	15,030	7,863	26,260	49,153	27,893	17,585	5,939	13,361	8,727	7,655	3,817	134,836	
構成比	入院	3.4%	3.2%	16.2%	22.8%	30.9%	25.9%	2.1%	7.2%	7.3%	3.7%	0.1%	100.0%	
	外来	13.5%	6.6%	20.5%	40.7%	17.5%	9.0%	5.1%	10.8%	6.2%	6.3%	3.7%	100.0%	
	合計	11.1%	5.8%	19.5%	36.5%	20.7%	13.0%	4.4%	9.9%	6.5%	5.7%	2.8%	100.0%	

3. 各科別平均在院日数

単位：日

2022年度	内科	消化器内科	循環器内科	内科3科計	外科	整形外科	皮膚・形成外科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	合計
4月	14.8	2.7	4.0	4.4	3.9	27.0	3.1	4.7	5.6	2.8	0.0	5.7
5月	20.0	2.2	3.9	3.9	4.2	22.1	2.7	4.4	5.4	2.6	7.5	5.4
6月	26.3	2.1	3.6	3.9	4.4	22.3	2.0	3.4	5.5	3.9	0.0	5.5
7月	16.6	2.1	3.4	3.9	4.9	25.1	7.9	3.4	5.3	4.2	1.0	5.9
8月	26.9	1.6	3.8	4.2	4.3	18.7	4.9	3.2	5.6	5.7	1.0	5.5
9月	18.5	1.7	3.8	4.1	3.9	19.7	6.8	3.8	5.5	3.2	1.5	5.2
10月	18.4	1.7	3.1	3.4	4.3	20.3	2.3	3.5	6.0	3.7	2.5	5.0
11月	14.3	2.3	3.6	3.9	4.0	22.5	2.1	4.0	5.3	3.0	2.0	5.2
12月	7.6	2.0	3.8	3.6	4.2	16.9	2.8	2.6	5.3	3.3	1.0	5.0
1月	46.0	2.4	3.5	3.7	4.2	17.0	7.0	4.5	5.6	3.7	0.0	5.3
2月	13.8	2.4	3.6	3.7	3.9	17.6	6.6	4.4	5.7	4.3	1.0	5.3
3月	9.5	1.8	3.0	2.9	4.2	16.7	9.8	3.4	5.5	3.9	1.0	5.0
合計	17.2	2.1	3.6	3.8	4.2	20.1	4.7	3.7	5.5	3.6	2.4	5.3

4. 各科別診療収入

単位：点

入院	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	前年度計	前年対比
内科	482,217	102,272	364,931	552,672	470,205	412,967	347,847	324,033	190,463	158,677	184,113	209,539	3,799,936	1.5%	4,138,576	91.8%
消化器内科	538,478	567,671	592,288	671,057	554,667	394,472	574,029	512,703	619,558	460,322	623,993	635,991	6,745,229	2.6%	4,203,340	160.5%
循環器内科	6,035,429	5,276,236	5,963,160	5,406,225	5,559,699	5,303,156	5,067,416	5,828,502	5,732,895	5,083,752	5,083,563	5,582,642	65,922,675	25.5%	66,477,404	99.2%
内科3科計	7,056,124	5,946,179	6,920,379	6,629,954	6,584,571	6,110,595	5,989,292	6,665,238	6,542,916	5,702,751	5,891,669	6,428,172	76,467,840	29.6%	74,819,320	102.2%
外科	3,859,837	3,973,317	4,785,537	4,770,561	4,895,054	4,485,040	4,726,530	4,557,927	4,538,288	4,116,892	4,789,151	5,169,795	54,667,929	21.1%	43,549,261	125.5%
整形外科	4,864,449	5,116,179	5,789,668	5,283,297	5,328,067	5,008,963	5,038,961	5,116,799	5,670,333	4,620,417	5,679,703	6,244,925	63,741,761	24.6%	52,681,638	121.0%
皮膚・形成外科	235,624	186,735	238,571	470,154	337,860	419,581	298,861	245,707	182,455	382,307	446,387	365,527	3,809,769	1.5%	3,126,065	121.9%
泌尿器科	1,528,896	1,152,499	1,139,932	1,231,271	1,999,673	1,810,988	1,690,366	1,991,502	1,767,898	1,760,707	1,794,798	2,029,799	19,898,329	7.7%	16,780,338	118.6%
婦人科	2,551,111	2,562,243	2,800,727	2,341,970	2,379,030	1,833,116	2,301,825	2,255,959	2,369,353	2,466,356	2,381,809	2,736,986	29,000,485	11.2%	27,798,832	104.3%
眼科	614,861	685,582	1,543,010	1,134,451	736,633	763,739	1,227,183	1,028,834	700,822	710,276	623,901	1,106,557	10,875,849	4.2%	10,336,127	105.2%
耳鼻咽喉科	300	59,710	600	11,875	24,013	22,461	27,727	16,399	11,408	700	11,966	12,020	199,179	0.1%	1,946,294	10.2%
合計	20,711,202	19,682,444	23,198,424	21,873,533	22,284,901	20,454,483	21,300,745	21,878,365	21,783,473	19,780,406	21,619,384	24,113,781	258,661,141	100.0%	231,037,895	112.0%
外来	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	構成比	前年度計	前年対比
内科	1,471,476	1,317,506	1,464,593	1,450,758	1,476,586	1,555,098	1,539,097	1,395,690	1,447,194	1,500,515	1,349,271	1,627,877	17,595,661	14.4%	16,608,847	105.9%
消化器内科	705,047	830,773	920,384	868,532	731,733	1,320,189	903,857	1,055,528	1,180,631	854,883	1,395,007	1,018,377	11,784,941	9.7%	10,524,090	112.0%
循環器内科	2,927,947	2,728,621	2,934,599	2,756,116	2,872,025	2,631,930	2,949,897	2,775,036	2,813,654	2,788,112	2,671,799	2,807,454	33,657,190	27.6%	33,451,650	100.6%
内科3科計	5,104,470	4,876,900	5,319,576	5,075,406	5,080,344	5,507,217	5,392,851	5,226,254	5,441,479	5,143,510	5,416,077	5,453,708	63,037,792	51.7%	60,584,587	104.0%
外科	1,340,870	1,318,346	1,524,825	1,226,775	1,285,276	1,344,653	1,420,905	1,190,471	1,402,003	1,251,406	1,296,638	1,491,191	16,093,359	13.2%	15,163,571	106.1%
整形外科	875,305	848,453	904,782	846,418	932,137	865,784	898,787	992,893	942,999	848,077	923,767	1,033,522	10,912,924	9.0%	8,607,371	126.8%
皮膚・形成外科	206,208	199,749	204,329	165,481	227,623	255,114	230,277	191,791	232,916	224,409	219,638	241,181	2,598,716	2.1%	2,174,892	119.5%
泌尿器科	822,650	799,096	963,201	901,298	938,336	972,631	914,806	1,016,114	992,706	929,562	907,845	1,141,464	11,299,709	9.3%	10,247,061	110.3%
婦人科	413,840	420,366	436,920	392,505	423,164	354,945	417,385	420,697	385,842	362,889	398,225	489,998	4,916,776	4.0%	4,892,396	100.5%
眼科	710,278	616,813	1,003,583	568,555	582,790	740,961	809,083	717,828	702,066	627,934	627,824	734,657	8,442,372	6.9%	8,262,188	102.2%
耳鼻咽喉科	270,046	264,045	327,369	292,674	291,803	353,676	366,987	367,178	337,936	321,993	357,358	440,088	3,991,153	3.3%	2,849,065	140.1%
放射線科	22,025	18,761	46,013	50,671	51,075	72,343	57,956	44,358	45,222	36,030	54,313	75,398	574,165	0.5%	171,017	335.7%
合計	9,765,692	9,362,529	10,730,598	9,519,783	9,812,548	10,467,324	10,509,037	10,167,584	10,483,169	9,745,810	10,201,685	11,101,207	121,866,966	100.0%	112,952,168	107.9%
総合計	30,476,894	29,044,973	33,929,022	31,393,316	32,097,449	30,921,807	31,809,782	32,045,949	32,266,642	29,506,216	31,821,069	35,214,988	380,528,107		343,990,059	110.6%

病院年報 第3号
令和5年6月発行

発行 医療法人伯鳳会 大阪中央病院

編集 病院年報委員会

〒 530-0001 大阪府大阪市北区梅田3丁目3番30号

TEL 06-4795-5505

FAX 06-4795-5544

URL <http://www.osaka-centralhp.jp/>

